別級過を触取し政府の態度を増

一明日中の閣議に於て

を協議

日本の態度は最も

央海軍専門家の觀測

の補助艦比率

長期に亘り 関境を挟んで両軍の戦時相常長期に取るべく中国戦車を馳せ傷器してゐるが、其後變化なく場が最富 令籠りの準備 四の撃支隊軍は多の機備を急ぎ大 電話復舊市間

露の威嚇砲撃から 東鐵支那幹部硬化 當分露の態度を觀察

赤衛軍に大

路が譲歩する近

現狀の儘だらう

中央と奉天の関係は密接

年紹陽氏北京で語る

遣間中學を閉鎖 大田東 張州代



巡査の應募者が

定員の約二十倍

大學出が七名も應募

藤井警部ける引率來連す

集しましたが隠滅、宮城、福島

は、之が物珍しき嵌大人士に無理

十四日本欄五段六行「是か

言察官練習生 十日ラユーヨーク造船會社長テヤ 責任者審問軍縮反對宣傳 ペスレヘム活船會社職社長エス、 樹小反跳官観事件に関し来る二

利計算によ 阿理事主と 改立計畫は 曾を設置に決定 **仏直す**

が、其は鬼に残って大巫が、其は鬼に残って大巫

医謀を警戒

明備兵を百名に増員

大連管内人口

十六日午前十一時五分新郷藤麓列たる後総倉に蘇査した護山首相はたる後総倉に蘇査した護山首相は

五減)外職人五九一(同一三減)

萬五千九百五十八人の激増である 太田關東長官 張學良氏を訪問 濱口首相編京

鐵の明年度豫算編成方針

大平副總裁の意見

黒田男嗣子要

更选事情 ム首相のな

でいたなると文章機は、蒙古人 の外でも借りて来なる、助は合

が問題は世界族、大西

▲平井破一氏(日主製作所員) 宗男氏(日本製編會社員) 氏 (字品製型運輸港車 要う同

政治的犯罪は 徹底的に檢學す 紀庸正を目的に



緊縮風を吹き飛ばす好景氣

初築中の主なもの

屋に向ひ合つて山田三平氏の工費の工費五萬間四階建五百年の煉瓦の工費五萬間四階建五百年の煉瓦の換瓦の 東ホテルメ昨今既に帰んで問題し、 大山道り館の

自分の家が

叩をきかす時代

潮洲を故郷とする氣分か

草原から住宅地へ

露支

容してゆかねばならぬ大連である。いづれは百萬の人口を包

昨夜萬歳街に

ピストル强盗

小銭と金指環を强奪し

主人の機轉で逃げ出す

連女紅場揉める

氏招聘から

秋の温習會を控へ理事者側こ

派と睨合ふ

北村賭は殷の妻子が藤間

中止となるの

るすのた

野球中繼放送

姉の遺骨を

抱いて女に溺る

老父から保

苗校落成す

A-1011111

準備車輛一幅積の各種

電話三八六九五

連 儀 で解釈中 ず本日午前五時十分死 の 健療器相

(F) 分大連解院に於て死去仕り候間**ぬ段御**遊り

二八年クライスラー三二八年クライスラー三 中古自動 四徳利洋行の岸本山根の徳利洋行の岸本山根 車格安多數



育研究所主催本社後援の第五回全大連キリスト教育年書及補東廳體

來る二十二日に舉行

一個人でないかと見られても

十二日午前入時三十分より大阪場

虎疫酸生

哈爾賓郊外に 團横行

を 開始される事となった。 優勝チー 本には本社メダル、Y、M、C、 本には本社メダル、Y、M、C、

鮮人種々即

松花江 紛糾で益々猖獗 **契橋を襲ふて大騒ぎ**

場所 数島廣場大道基督教育

防疫に狂奔

り開催される全浦選携野球大會の 決勝戦を午後二時五十分より浦船 では、東京 けふの入港船

の爲運療し午前十時継外に齎いた十六日入港はるびん丸は途中風遊

第二部 専門単校程度以上及び一第一部 中等単校のみ Y、M、C、A (主將會

第二部 大連二中、大連二中、大連前際第二部 大連子、M、C、A・墨道教習所、「南端工事」 大連一中、大連二中、大

苦力頭の喧嘩

大連市外海福祉無批升子大二苦方の財井子五〇同政施要公かたに設 のは井子五〇同政施要公かたに設 のは井子五〇同政施要公かたに設 のは井子五〇同政施要公かたに設 のは郷末野(25)および同苦力技术 が関すされ中数した遭っ た旨十四日同地派出所に超げ出た 田中巡査は王巡插と共に社永成 誘き出し殴る

額様と繪書なら

新 一二科展覧會エハガキ

にんしん按腹 乳もみ其他腰無手足の痛む種方標 は御来堂下さい 大連市美廉町二五電気へへ 大連市美廉町二五電気へへ

けふ午前十一時に約四百頭 全滿籃球大會

部職種大師氏及び東升報三歌語は ト歌神特野宗三氏、九州郡大義被 ・歌神特野宗三氏、九州郡大義被 が長三輪主訳大佐、小毎田セメン

建金也

3 第八回全國際 至國學生水上競技會 常勝軍早大敗れ

覇権は明大軍へ

目

大連市吉野町二〇 割五分引

間が開きる

◆・だからこれをはう無理 地でしゃうと云ふのは合理 ある。

曾員の紛議調停

原料及製品の需給狀態調査等の事

大連油房聯合命

送炭五分減に就て

飛行機で歸連の石田氏語る 界を顧慮せぬ造方は不可

鈔票六圓臺割れ

撫順炭は除外例を求めん

、回答を留保して考慮中

新型,交流, 图图

元の職取るは山田へ 田商店裝部



店 理 代 所張出池電乾日朝 町島ノ江天率 所移工機電川嶺 町田龍市並大

池電乾日朝 る判で目一立後年十四百 ーダンレカタネグマ 附添に池電 "B"

商賣人らしい たい満洲の景氣は何うなる?日 禁 漫 甲と乙の對話

北の間上の間上 知らなかつたものだ。熊蔡辺に 特の職入品で最近の監督變動も 時の職入品で最近の監督變動も

とかり はのですね ものでせる?。 銀安と輸出入品の関係をも少 下るとして実後は 下るとして実後は

日午前十一時年から鶴南倉に合合 ね時は建築を停止せればならぬ様態粉淡者鳴菩店の各雕篋は十五 一般の態粉変者は熊葉の見込み立紀田禁止で打撃をうけた支那巉艦 禁を謀職することに決議した十年のビン特徴十六日配 総数の し吉松及び棕頂區當局にこれが

雜穀解禁を請願

吉林、哈爾賓兩當局に對し

支那製粉業者等より

内地經濟界は

不景氣深刻

銀崩落金昻騰

少 京称、弘前、前月、小龍の各商工、知 倉職所収契 の 報したが更に他薬所職二十一名は 報したが更に他薬所職二十一名は 一二十九日、高知衛職十三名二十九九日、高知衛職十三名二十九九 高知衛職十三名二十九 産地及び大連在庫品の排底のため 原対は低報の通り帰境期に直面し 原対は低報の通り帰境期に直面し 原対は低報の通り帰境期に直面し 原対は低報の通り帰境期に直面し

特市

况

神戶豆

仁丹適應症

貴葉サフランを倍加特製せる



思思案するより シンあがれ頭 ハッキリ 智慧も出る 室服内装

洋

一大條件を具備す

0

0

工事士横

M

國際

川上彌生 助演

#造─計算—監督 宗像建築事務所 Yand宗像主一建築—設計—監督 宗像建築事務所 Yand宗像主一 貴金屬製作 大村洋 行 特專 壽稿

社選拔野球大會

- 台上日より特別公開

十六日よの翻

センス家庭関補容劇

優良、安價

安くて良い品は 積極的節約なり 寒防

B44

VED

一番よいに 威の に用くしたキ 気の味 S F 53 Q

昭和四年式新型センター

烈以品の多い今年の暖爐界は動からす花客を迷はしてゐます

どうでアレ、コレビお迷なく改良に改良を加

價定

一分九

拾八圓まで

言に於て是非お買上を願ひます

頭痛を覺をて

を知

.5

知つて

頭痛

を忘

阪屋號

二記念大景品付破天荒の大賣出心

1、 而號改稱即念

(元值六本店)

製造發賣元

大阪 山本最商店

大連伊勢町

久保洋行

一、天

念。(本年五月大阪行幸の砌り天覧の光榮に浴す)

蘆

好評 太 郵 大利美本百人

徐宗神氏著明代文那四洋學術紹介の

上於其實民者仲士(積

發行所

松木 侠氏著 商

更に、

御清掃 によって、更に

さわやかなりし

店商林小 West 鄉本 最古名。版大·京夏

(手切品商) 店商村西

著五三九四號 地奇二〇一通四

LANG PROPERTY 四

五三六四帝號九十場市町海信 三七八話電 新華祖代名字 「新理代名字 「新理代名字

察官新 は 聞 公 平 老 期 並 す 0 5 爲 Ŀ 店 的 頭響

景品 御買 を差 11 上 七 參等 四等 土 V V 4 10 ま動すし 1 壹百圓 五拾圓 四百圓 参拾圓 3 壹 h 枚 1 同 同 7 0 抽一壹

頂拾圓 塗料 (壹個二十錢) 圓 同 同 債 劵 1 Ħ. 壹 三十本 廿五本 二十本 臺 本

五等

約 店 【詞不序順)

賣出期間

昭和五年二月末日迄

抽籤期日

同

年三月十日

大連市層域町 7 七三 大連市圏町八九 大連市圏町八九 大連市圏町八九 大選市岩代町三五。

四大日 大三九 ハハ大 五八二 七〇一一八三 ハ七二日 七 五 三日七〇四五 三国国支Hーニ同三ーニ五 九三八五六〇七八七九八二 三七八八〇七八七九八二 五九四七

元

下檢分に東京出發

柳紀紊亂の事實あらば 画正の質を擧げん 満鮮視察旅行の出發に先達ち 拓相聲明書を發表す

警京取締 反蔣運動の

医南京十六日發電」國民政府改組 の勝門原はり居るため國民政府は 市内の影響を厳重にすると共に戦。 で、電報の檢路を厳重にすると共に戦。 で、電報の檢路を厳重にすると共に戦。

政友茶話

政友會の熊度米穀調査委員会

定し午後六時平散會した。 東東東京の本職が大麻る本職方 東東京の大麻るをあります。 東京では、「東の本職方 東京では、「東の本職方 東京では、「東の本職方 東京では、「東の本職方

総職支権千月末東京に関くと

にあれる て未購との秘密支討は来年一月よいで秘密 との観察ら帰へられてゐる。 励し

兩日中に發布

訴訟が簡便になる

日司短記式日を押して 東州に於ける然用法に で版人敬定したので、 ・ で版人敬定したので、 ・ で版人敬定したので、 ・ で版人敬定したので、 ・ で版人敬定したので、 ・ を文百四立。と、なつ ・ 今回の改正民事訴訟法 ・ 今回の改正民事訴訟法 ・ の二十四ケ版、新数 ・ の二十四ケ版 ・ の一十四ケ版 ・

廿三、四日頃迄に決定か

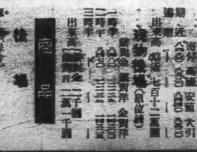
匹域的法權撤廢を 叉が秘密交渉 兩國の通告回答は妥協の上作成 王正廷氏との間に進められたが、 未だ圓滿なる解決を見るに至らず 双方共に九月より更に交渉を進め る事にし打切られて居つたが。底 に英國公使は北郷神より屬京し目 に英國公使は北郷神より屬京し目 に英國公使は北郷神より屬京し目 が再開される筈である 鼓姿等の解決不可能の勁は前回 数額新濃附に就では民國十二年 南支方面で頻に宣傳 たるものである 勞農智識階級の 反革命陰謀暴露 中心人物七十名逮捕

「東京十六日製電」 茶語館は十六日午後三時 名出離し矢野幅太氏を揺 名出離し矢野幅太氏を揺 り かが氏は一 濱口首相天機会一、解禁の及ぼす影響一、解禁の及ぼす影響一、解禁の及ぼす影響

引揚のため投賣

同上 同上 (電腦率天支局長)

義章氏(電通大連支配長)十進氏(大阪電通社長)十十進氏(大阪電通社長)十十



改善建白書

華天十六日發電』奉天教育施で

威海衛還附交涉

近く再開を見ん

難關は管理權の歸趨

強制訓令

東京十六日新電」我が園は古来 電式の園で監禁の機能短型は世界 に其の比を見ず、更に無視の選化 に其の比を見ず、更に無視の選化 に其の比を見ず、更に無視の選化 で、米議院の選化

を関き安塗、松田、俵、

教育弗

民政黨午餐

び決議文を提出して英観を明す」との決議を明す」との決議を可 観を期す」との決議を可 観を明す」との決議を可

漁業組合理事會

暗雲に閉ざれた

上海の邦品市場

排日貨漸く具體化

之を職挙別にすると大體次の如く

現在は大原連には、カーレーの関係には、大原連のサー、フレデリッであり、大阪側のサー、フレデリッを調査の調長であらり、大阪の関係であり、大阪の関係であり、大阪の関係であり、大阪の関係であり、アーサー、アーゲーの関係という。大阪の関係である。大阪の関係であるアーバーの関係のである。大阪の関係であるアーバーの関係のである。大阪の関係である。大阪の関係が、カーレーの関係が、カーレーのである。

会育域の出版する「全會技術と、 全質域の出版する「全會技術と、 全質域の出版する「全會技術と、 全質を国分して対象を行ふ「政府 充分に研究するに便ならしめた。 元元来合の特色は自由特能にある でも思ったまとを事直に厳勝す 会会を表する。

らぢやと、お飯でマネデヤ

oう切りました いでもよいです ないでもよいです

フョウ品 海鴨骨黄 中古 ニ五〇側四三五 東部骨黄 東七四三五 八の半町 東部横五丁目二三 大弧製命合 大弧製命合

以貴方遠くお乗りなさい、御楽蔵

第二囘太平洋

朝鮮博覽會畫報—(館、滿葉多考館)

會議の思ひ出

の之を各職長に続いて見るも 表者が減られたと云ふ事が出来 を表者が減られたと云ふ事が出来

を占むるに至り、特に其の治外法で、 を占むるに至り、特に其の治外法で、 を占むるに至り、特に其の治外法で、 を出むるに至り、特に其の治外法で、 の一、理解の問題を反られて居たのであるが、 を出むるに至り、特に其の治外法で、 は最も重要なる地位

製質袖三人、法律家一人、工工人、國際幹事四人、

安那

太空洋問題調査会幹が武田胤雄

大部とではからで無くとも関の ・ 中職の方は如何とか総合せが か、理職の方は如何とか総合せが っくでせらよ、君なら僕よりもつ と確的い顧察をして費れると思ふ を見てもらへて好都合だ、特殊の

頭いたらう。君が満洲を観察してでもあれで補別に繋する好奇心が

書きなぐつたほめ充分意味

君の來補が

来てく

神を敢てし、全く難

會議始まる

真を加へて約二百名、之を

九名、之に家族その

は何より雛を作つて靴を野化して子の安い卵を使つて雛を野化して子の安い卵を使つて雛を野化して子の安い卵を使って靴を野化して子の安い卵を使って靴を野化して子の一般である。

今では挑響さへ買へなくて掘つてからだ。然るに元々無一物の僕は

打開の精勢を認め得ざるものあれ、需要兩関のみならず、極東は、需要兩関のみならず、極東は、需要下に轉換したかに報ぜられば、である。而してペルリンの舞が、その以後の情報によれば、が、その以後の情報によれば、

題温蒙の地より H 國G友、送名書

第十五信

田八十楠

大團圓を夢みて でない。変になった。

果の一角を聞みると、露支の交渉機能しつよあるのときに方り、場でない。かくの如く平和の無分に

それは兎もかくとして、歐米

門出の説に君が寄贈して下さると 関一の説に君が寄贈して下さるのが楽講 関って持つて来て下さるのが楽講 関って持つて来て下さるのが楽講 関って持つて来て下さるのが楽講 関いまが寄贈していましい。 関いまが寄贈して下さると 内地等では味は

博

會

便

IJ

かの御殿は忘れん、成功すればはあんまり張込み過ぎるちゃな させたのだらう。君が二人の間に入つ る へ無賞論で終り) でする様な事は毛頭無い。一つは彼 から足が抜けなくなるのだよ、全 たのだらう。君が二人の間に入つ る へ無賞論で終り、 から足が抜けなくなるのだよ、全 たのだらう。君が二人の間に入つ る へ無賞論で終り、 から足が抜けなくなるのだよ、全 たのだらう。君が二人の間に入つ る へ無賞論で終り、 から足が抜けなくなるのだよ、全 から足が抜けなくなるのだよ、全 たのだらう。君が二人の間に入つ る へ無賞論で終り)

仕満内鮮人に 朝博利用を築む

今村殖産局長語る

第文 今前、午後、夜間 ・一部、午後、夜間 ・一部、午後、夜間

基精

西公南町六九

習字 多

涞成教授查夜

『京城』朝鮮博覧會展際部長總 「京城」朝鮮博覧會展際部長總 「新社た好」を謝し併せて今後 「の希望を傳へるべく十三日記者 に對して左のく語つた 「の新望を簡単に當り私共事物に 「ので展る者は機管政監閣下を 提はつて居る者は機管政監閣下を

考へます、この機能に終ても

するクサビでありわれく日地に在る「病者をしつかりと

に、特に今回の朝鮮個體的

の内脏人各位に敬

の下に大過なきを得ましたことを 最も就性とする大類であります、 最も就性とする大類であります、 物理動に難してはたなく、感傷の 外はありません、本物管盤は形式 外はありません、本物管盤は形式 ます、本体影響を大に利用していては朝鮮二千萬民衆のものであり 御懸薦なる御後続御指派 者及切符質上線線は左の如く間場二日目(十三日)の朝護 二日目入場者

の朝は

たなてと共に、開教強上にある加 のでありまずが、特に在補談の ものでありまずが、特に在補談の 登々駅舎野貨を加へるべき と、駅舎野貨を加へるべき

経本院情別賞を加へるべき 場でも深い 大瀬き 人間味 の避れこ そ接頭の たりに たりに かっていたできたいこ た外間じとを切望に増へません、親く朝鮮 激し硬ってとを切望に増へません、親く朝鮮 激し硬って とを切望に増へません、親く朝鮮 激し硬って とを切望に増へません、親く朝鮮 激し硬って とを切望に増へません、親く朝鮮 激し硬って とを切望に増へません。親く朝鮮 から といこと 市内でも同日機能通と光化門通りた外間じく同様で六月以来市内と常見を機能を整の手で検撃した外間じく同様で六月以来市内と他の五名は十六歳と十八歳の末辺があります。 指提閣を逮捕 地域で別項の知く開場式の でも選挙く五件を發見された 四、六九一名 七四八名

鈴木丈太郎 製話四六九二番

五球 エコトロンダイン 高級倫秀品品権修理 ま付五五側より八五側迄 の五十側迄 の五十側迄

・ヤマ総合 マハ七二二巻 一九九、一二一家園

のに乗りませら

ありや三隣で

の治外法 6 選万からよく判るのですねの益めに 9 後から七號が来ましたしまつた 10 あれに乗りますか 15 乗れないでせう 13 乗れないでせう いては 13 乗れないでせる いては 14 乗れないでせる いっぱい 15 手方先にお乗りなさ 15 乗れないでせる いっぱい 15 手方先にお乗りなさ 15 乗れないでせる いっぱい 15 手方先にお乗りなさ 15 乗れないでせる 15 手方先にお乗りなさ 15 手方先にお乗りない 15 手方先にお乗りない 15 手方先にお乗りなさ 15 手方先にお乗りなさ 15 手方先にお乗りなさ 15 手方先にお乗りない 15 手方先にお乗りない 15 手方先にお乗りない 15 手方先にお乗りない 15 手方先にお乗りない 15 手方先にお乗りない 15 手方先にお乗りなさ 15 手方先にお乗りない 15 手方先にお乗ります 15 手方先にお乗ります 15 手方先にお乗ります 15 手方先にお乗ります 15 手方先にお乗ります 15 手方先にお乗ります 15 手方 15

日歌町

寛盛 の御用命は

頭痛にノーシン

ラデオは何でも大製塩

新 全庫 間宮式 手 提金庫 日皮英米 幕波特許 の 取入六七五 三河町二 施 内 取入六七五 三河町二 施 内 取入六七五

不用 品類切本位質受不用 品類切本位質受 無大門 一 提灯 和幸問殿、膨脹登大道岩 古流 御買入報源用 日盛町 電三七四七 まっゃ お選具高価 たじまや電大大〇一部 **賃衣**暴騰開出 吉野町 一萬堂 電七八五九番 Εp

二大遊案內社

16 此處で結構です私は切得を買ひます

乳見預りの御相談に懸じます 市內美德町五七番地市內美德町五七番地

地域が、英國製 ・・・マガケヤ洋家具店 ・・マガケヤ洋家具店 ・・マガケヤ洋家具店 健慢資温熱病 康家育弱性徒 州の至帰居の

皮膚病根治が預り致体 **淞圓明** 令大親加大 9 腦各 間



電話介四四一番 電話介四四一番 皮庫 性病。蘇門下疳 野中醫院 病

科器尿淡毒梅属皮 重 醫富 。"堪広西·橋盤常·通西達大

原 商

大連市奇野町七十二(三通伊勢町中間)

病议分內科外

報

るけれども、今日の進っした園際 あり、いかに園際外交といへども 変態は、背のやうに虚勢や恫喝、 満歩せる常識を無視することは出 別は、かくの如き罪痛を以てして 民政府の首領連も、現在の國思はれない。あるひは一時間の成 の國民政府の首領連も、現在の國思はれない。あるひは一時間の成 の國民政府の首領連も、現在の國思はれない。 古いことは望されぬ。 古いこれを達成し得るかも知れぬ かり没頭せず、支派といふ國家まが、永遠の平和を割するといふや たは支那人といふ民衆全體の、永 方なことは望まれぬ。 吾人といへ 遠の準調利益のため、東支縄道の おったことは望まれる。 古いた、東介石または王正廷の諸君 紛糾を平和的に解決すべく、大に ども、 第介石または王正廷の諸君 紛糾を平和的に解決すべく、大に ども、 第介石または王正廷の諸君 紛糾を平和的に解決すべく、大に が、 内政的に、 對外交渉を利用せ 英國首相マクドナルド氏の米側訪して が、 内政的に、 對外交渉を利用せ 英國首相マクドナルド氏の米側訪り ・ 現在の個 ・ 現在の個 ・ 現在の個 ・ 現在の個 ・ 大い、國家ま ・ 大に ・ 大に ・ 大に ・ 大に

投書歌迎

日居

日案内

女で 出来る店気は店女上店かん来談 電五五五七 正貞洋行 電話領教證で参酬す電話 できない 正貞洋行 こうめた こんちんと 正貞洋行 こうめた

たら大正枚物

牛乳

西面三五電大六六三大車等 發揮使與賣員金融

ニチ

パタークリーム

飛行デーを望む

し始か許富

一般にも一般にある。 00000

田村小川南氏を各目が治意されたいものである 不用 品高價買入九個礦水第零 不用 品高價買入九個礦水第零 野野町七九番 野慶勉強して頂外 大谷崎店 大谷崎店 大谷崎店 大谷崎店 古本 高價質受

航全 別と度は

十二日入城した満 ・十二日入城した満 ・大三、 関東歐事 か記小 上野 ・大三、 関東歐事 か記小 上野 ・大三、 関東歐事 か記小 上野 ・大三十一名を『京喜久』に 探禁を動ね十四日 ・大三十一名を『京喜久』に 探禁を動れ十四日 ・大三十一名を『京喜久』に 探禁 ・大三十一名を『京喜久』に 探禁 ・大三十一名を『京喜久』に 探禁 ・大三十一名を『京喜久』に 探禁

女給 さん素急入用 浪速町 でまん 本人来談 一丁目 できん 本人来談 一丁目 できん 本人来談 一丁目

鶴見 科科器局 薬及治療 ミシ 常賠償河島ミシン店電大六人当

ンと審質器は

大当市浪速町拷旧順大堂 節甲 大連市但馬町二二 の瀬戸彫り野田

町二三 谷澤 電六六六二 落偽理技術本位

京縣 安高州院

猫人院留息

宋文文 宗 中分元確實 中分元確實 一日前込蒙圓含拾餘 四公園町五七 家蘇一切斯 一日前込蒙圓含拾餘

第 小 身 原 局 大陸祖和斯西路南上山

が町の 電シレフミへ 断四の二三へ 断四の二三へ

東新四五三七歩 鋮 日町みどり檔泉前電七八五〇 電源に正「曹縣府子宮城 選」版正「曹縣府子宮城

堀冱醫院 医学博士 堀江憲治

艮 馬 場 醫 江庄場馬 ルトクド

行

ホネッギ

門專

シンガーミシンは常該指 小島。 四郎年行電三ル〇三年 副長具類一式

雜

二九町濃信市連大

な給料の不渡りから廣西

れに行く、領事は途中は十事館に御世話になった方々

今日は膨火出發の日だ

は本年は申し合せた楊に側をとった。たと看護婦州餘名がそれに 代つて終りまで騰援してゐたのは 代つて終りまで騰援してゐたのは をの心をしの應援は又揺がたい に 「魔がある▲それから案の地方事務」

兩鐵運動會の盛況

時に惠まれた

保証 「時も記録をは本年も相要らず職太 をで説刺たる元素のある處を見せ で説刺たる元素のある處を見せ で説刺たる元素のある處を見せ で説刺たる元素のある處を見せ

名を選携しそれらを自む 名を選携しそれらを自む

支那の何れ

上太田長官は大要左の加き検例をされ在部邦人並に需支人の官民多され在部邦人並に需支人の官民多され在部邦人並に需支人の官民多

に参りました所 に参りました所 に参りました所 に参りました所 に参りました所

お言葉を賜りました事は私の庭代表の御方より懇切なる歌頭なる歌迎の代表の御方より懇切なる歌頭なる歌迎のであるならず

民船帆を上げて勢よく漕ぎ

関係談に花が突 ・ では暗く 性臨治の 汽船の電 光が水 間に揺れて彼方此方に 光が水 間に揺れて彼方此方に

皖南

今日は武山総勝の機都を盛べて をは村田氏の宅で夫人の心霊しの を関事能に至り安都通勘を調べ と参考になるお話を承つた。 と参考になるお話を承つた。 から四方の展響もよく殊に夜の凉 がはすつかり影響を忘れてしまつ を建するかり影響を忘れてしまっ を選が、いる

船に乗船するので時間はまだ早か つたが頑眼のヘルタに行った。日 でなり機上で同氏の歴生常時観想

江泉が

は は本年は申し合せた様に應接数を した組だ、壁校だけに選手もフィー は本年は申し合せた様に應接数を した組だ、壁校だけに選手もフィー は本年は申し合せた様に應接数を しい大きた、それで一等を占めよとは無理 ながいを終吟場の響かせたによった。、それで一等を占めよとは無理 の際接触がダルマ順長の指揮を受 能は能一人應接するものもなかつ なが、みがなる最後に黄組、常日優勝 るのがなる最後に黄組、常日優勝 は本年は申し合せた様に應接数を した組だ、壁校だけに選手もフィー は本年は申し合せた様に應接数を した組だ、壁校だけに選手もフィー は本年は申し合せた様に應接数を した組だ、壁校だけに選手もフィー は本年は申し合せた様に應接数を した組だ、壁校だけに選手もフィー は本年は申し合せた様にを接近である。 なが、のがなる最後に黄組、常日優勝 は本年は申し合せた様にを接近である。 した組だ、壁校だけに選手もフィー か ルドでござれトラックでござれよい (横つてゐる、魔法派はなかつたは が真心からはどばしり出る生徒のは が真心からはどばしり出る生徒の は 上腹波したらどれ支酵つことか と物様い難感であつた 早大戦補洲際大の下式戦球試合は 十五日午後三時から勝大グラウン ドに於て暴行されたが、道早大軍 に終始監備的によく戦ひ三野零で は終始監備的によく戦ひ三野零で ア式蹴球戦 省城支那側同文中學生徒の上級生 ▲長山遼陽署長

目前に迫る

尚ほ續々こ立候補

優勝旗爭奪戰

淨化運動を起

三其

歐迎宴盛況

内外人多數出席して

第三直は新 鮮農問

炭坑祭

十七日煙臺で

無職神社状祭りは九月三十日春祭 要行するが、常日は仕損煙火千数 要、奉鞭神饗、大弓、生花等の絵 製あり一般総職者には神酒、紅山 興あり一般総職者には神酒、紅山

3868 5774 8514

528

着狭町支店 4515 西 部 支 店 9324

秋季大運動會

族軍肆前營業所

、解決す 題は

棚を農築公司に譲渡する代は、公一司総監中は膨脹の生活を保証し得組合間の水調問態及び鮮人の小作の現金を支援ふ車とし同農場を公無幅に於ける農漑公司鉄群人農民一司機より農民組合に金一萬五千圓 農業公司が金を支拂ひ りよだ

地方委員選舉と

陣頭に立つ人々

るやうであると

漸く暗中飛躍を開始

は一時鳴りを絶めたとは言っ到る は一時鳴りを絶めたとは言っ到る は一時鳴りを絶めたとは言っ知。 とは一時鳴りを絶めたとは言っ到る 以北美春までの在代者である 関日のは四十四名中二名の展聴る の四十二名の人際であった、機能 ののであった、機能

設製元

東京日本構區離戸物町

い効果がありますに用ゐて最も著し

王国各地の親店にあ

百数十名と確立守 である 正に於ける態酸二 である 主 型は、 ・ し歌優の大なるものがあった答
・ に無事終す、最後に関歌校歌の合
・ に無事終す、最後に関歌校歌の合
・ に無事終す、最後に関歌校歌の合
・ に無事終する唐父兄恋愛 タクの

経上随一の富豪たる同部落郷東方と更に機能縣下阿吉堡子の方向に

虫の害、其他荒れ性の方 しつ、ひぜん、くさ、とび しつ、ひぜん、くさ、とび しつ、ひぜん、くさ、とび 一面二面四面四面 定價

本学に用ひ徳迄五五歩の位を保つ考へでした。志澤三段日く敵に中央に用ひ徳迄五五歩の位を保つ考へでした。志澤三段日く敵に中央に用ひ徳迄五五歩の位を保つ考へでした。志澤三段日く敵に中央に用ひ徳迄五五歩の位を保つ考へでした。志澤三段日く敵に中央に用ひ徳迄五五歩の位を保つ考へでした。志澤三段日く敵に中央に用ひ徳迄五五歩の位を保つ考へでした。志澤三段日く敵に中央に用ひ徳迄五五歩の位を保つ考へでした。志澤三段日く敵に中央に用ひ徳迄五五歩の位を保つ考へでした。志澤三段日く敵に中央に関する。 の一会に動かり地野があるので出居経典しると常川君は土曜館と電燈来の背と取り、「大き」を表現に整勢力ありて有望であると塩い、「大き」を表現した。

して無常と館徒とのニッセ して無常と館徒との対果を吸め ますから本葉一場の横幅は ますから本葉一場の横幅は をであり家庭の常学業と 用をおりめしたいのであり、

を要し、(戦闘組合に渡すべき一萬 過級の水害の後齢末にも多額の金 場に既に数萬金を投資してある上 場に既に数萬金を投資してある上

供將退敗 駋

問題は一段落

六步▲:四步△二八玉▲六三銀△三八金▲三一角△三七銀引▲七八歩△一四步△二八玉▲六三銀△三八金▲七四歩△四八銀▲九四歩△一 金元五五柱

二重に働らく特色

皮膚薬多年の

一滴で殺菌と化粧の 理想實現

器 原 格 庸 皮 本 板 科毒 專 內地人 の調製 西電

一号天祐 十五銭

水居真書 十 錢

(長印)

以上ノ国ハ現型二分

ノー図

宫內省御用達 香茶香糖具 鳩 居 堂

吉林地方の 六六鋒、廿五錢 御常用トシテ定評アル (梅印) 平安 五十錢

ス月二十日より正式に開校した吉林大學校の十八年度經常費は初め村大学五萬五千二百六十元と計古れて居たが、其後各種の費目に就て是非支出の必要ありて財政に対した。 大十元を追加され台間九萬八千六世が追加され台間九萬八千六世が追加され台間九萬八千六世

村大學校經費

市 着は響師曲科響鍼灸師など、同じく病患者の信頼とは、強を受けりを構
の収入を得らる男女を問わず太楽調業として、必ず智得すべき新
難察です治療士は部原領土所は自由に開業設度出來ます、希望者はへ
東京牛込の主規所書官職報告等無代進星す
ままで申込めば規所書官職報告等無代進星す
ままで申込めば規所書官職報告等無代進星す 華墨 4

のなほ 病の最良薬と でお教へ致します 養生法を

今日は仲秋節

体製の管子七、

(可認物便郵種三第)

生活難の巡査の

青年團の

教魚大會

る二十九日之が報告

ることに決定

哈

賓

金

增給案提出

慰問方法 経肺・回路力 クレクトライクレン 本期御機帶を御奬めしまなりませ、の費下の護身用として気程困るものはありませ、気をしてい所で不時の病 舖 木 元費豪 京東 社會樂資本日



額敦勢双牌烏九 商 皮拉 計点 皮拉 計点 移化石陽廠街站 地

宮內省御用達 味の素本舗 鈴木 商

まとうこようにからです。金と観点い大理石の階級の上に、シーバ

實玉とをちりばめた降臨木を後

暗い館を明るく照らしました。

けになるやうなことは無く

おつしやるとの間でした。

開かれました。そして黄いろい光

館が鳴り止みましたの教會の原が

らやつて來るかの様な氣がしま

しな

たつけ」を食の子は離晶をつきそ

を思ひ出しました。すると

郷の音はまだ止みませんの気間か

しい女は、思はず

乞食の子は街路に立つて耳をすまてしみんとい頭をたれるのです。

してるました。

北風の

送葬曲

は深にひろがる波紋のやうに、町一然感光の中のマリヤ様のやうに神の鑑が鳴つてみました。その響き、れてゐらつしやるそのお方は、宛古めかしい教會の尖塔では端た鋌一にして、眩しい花電燈の光に包ま くぼんだ眼を閉ぢてしづかにおいでは白いあごひげの露店商人が、 の上を漂つてゆきました。 ムけたランプのらす 明りのもと

つき道で溶した一きれのパンを 名なさる信野令嬢でした。世間で 事實令機は恐い乙食等を閲覧になる機を女神の様に申しました。 々しく見えるのです

態は紫絶えて草のさゆらぐ 朝露にしといに裾を濡らしつ」は たをり飛ぶを追ひてゆきけり ちご一つ赤く感せり かつたからです。

ともなく鳥の驚する 登り終へて邀青海を見渡せば渡た 毛皮の手袋等を出して可愛さかなかった靴や、風襲りの三角欄や、 人々にお與へにな ら赤いジャケットや、エナメルを

たスカートの下から、一つの小さ がきになる度に、健鶏で縮収をし 合繊は今、登しい人々の前に立つ派な魂を持つてゐるのだわ」とで つてお供の者に朝かなみ際でから 「特しい者こそ木當に玉の機な立 しやるのでする合嬢がお でもありませんの乞食の子は会験 ら、自分の番の来るのを今かり の子も思はず萬蔵を口起りました 粉書はまだこやみなく降つてるま そして皆の一番後にくつゝきなが しろの方に居た、あの小さな乞賞 と持つてゐるのでした。

夢中になってゐるのです。 を興へられる幸福を思って、もら 乞食の子は

で先づ収扱ず係の先生の手許に集 うな楽しのがありますよ

しれは富士様、羽二面、狭父縁な

るまでの努力を思ふと質に誤ぐま 標を現してゐる。 めてたりして本種多様の配合い 感じがする。それらの作品 しからいづれを の模様を築め 五年小祭浪子さんの稲様の

オリマシタッソシテ モリノナ エタノデ カガッテ イソイデ キカラ カイガンヘト 大チャ かったの デマシタ。アファフト コガカイ タンケン

大チャンハ

(101)

ル

ミチ作

3

5

ゥ

ナツカシイ

大チャンガ ナガレフ

招待なすつだ時と同じ口吻でおつ 生日の御覗ひに十二人の柳士を御 生日の御覗ひに十二人の柳士を御 しやるのですっ 「皆さん、つまらない物ばかしな

と風船みたいに肥えた市る事官の 55」原の傾に立ってゐた解限館 一明日私は早速議員を集めて、合

れは丁度花から花へ飛過る胡蝶のれは丁度花から花へ飛過る胡蝶の 臓なだけでそれ以上の何物でもな 翅を被ふ黄金の鱗粉の様にたと綺 もりです」と申しました。而し登録の著行表彩の打あはせをするつ しい人達は分類の此の丁寧なやさ 眼を輝かしながらその垢じみた動物な確値をし、細い雨手をさし仰べ よ」合譲はから御言ひになると、 るた合態の面を、 而しその誰をじつと御歌になって をあげました。 い微笑が髪の機にかすめました。 「お氣の母だがもう有りません と背をおむけになり、軽ろ

忽然一種の冷た

でもやがて会議はその大きな能か 総に脱筆高く吹へはじめました。 ました(つなく) 一般にありました。すると今途低階会 では、からを の後にひかへて、検察官みたい できながら続葉の ができながら続い。 できながら続い。 できながら続い。 できながら続い。 できながら続い。 できながら続い。 できながら表した。 やかない取りで教館の中へお入り

野の果てに日は落ちにけり つても、そのきれいな瞳をおそむ 令嬢のお手づからいただいた立配って、それにお答へになるのです げ、令機はあでやかにお笑ひにな そこで始めて皆は感謝の叫びを 単 な品を高くさし上げて、その一 人々々が順喜の酸をたてる度にう

> 年教育品展覽會 南滿教育會二十周

出品物のぞ記

彌生高女の部

つてゐるといふ機器共臨局を見せて質ふことにする。

のあの美しい手 澄田校長は記者に椅子をするめなカメラを拠へて同校を訪ねると、 物を見やら 次は頭生高等女摩校の展覽會出品

てもはづかしくないやうなほかなどは遊遊町あたりの店に出し

コブタ

江

コロゲ

使性腸質カタルとなり

てもはづかしくないやうな

他り楽めや自ら楽め出した長福祉も作用やうやく見たのですが

「慣に立派なものがあります

ブタノ

1

プなど

もう一寸早く來て聞くと見て聞 けるんでしたがねえし たった今職器と書方の出品物を 「信いことをしましたね、質は

> どもまつたくふるひつきたいや なものが出來で時まで、色合な

カヨク

來ない中から配者の好奇心をそ なものばかり つで次々と運ばれて來る作品に かける。その中に係の先生方に上 るやうな言葉を矢つぎ早に浴びせ 配者も見はず譲襲の職を絞つ、先 丁いづれる目の気めるやうな跳か

何よりへい

が出来てある。 が出来てある。 が出来である。 五年小科談子さんの総織経験には、大人の女皇常殿、四梅馬場光子さんの総織経験にはいづれる貴のボイル女兒殿などはいづれる貴品として抉してはづかしくない時間にある。

サマシタの

『場所を根抵から編巻するのである、見よ胃腸は弦に難生し美味要食 分泌を調節し胃カタル腸カタルは患部の粗繊一帯を襲撃してあらゆる 門アトニーの如きは強級したその競技を緊縮し胃臓過多、過少はその

その犬は狼の際に怖しく、蟷螂の 機に陰酷でした。乞食の子はおび ないったが御感みをお受けしよう ました「僕は何も悪い事はしやし へた眼を見はつて驚へながら申し としたよけなのだよし 松上之順安子さん、四松上野 立派な 出来である。 **齢かな複機は遺田校長の話の通り**

泣きながら影響の中へ指えて行か 犬は肩をいからして叫びました。 を乞ふ職に鍵を見ろっさし出す前 にそのけがれた手を切りおとせい お前の手は百足虫の様だ。御墓墓 「跳い奴め!お前の敵は蘇の機だ **吳殿店の店に飾つても決してはつ** 四松滑瀑和さんが百数十時間を娶 づれも工夫を凝らして楽田したも ん、三根貝爾富貴子さんなどがい 三個学山部子さん、三竹吉田文さ森脇権賢さん、四竹佐野造さん、 長艦物は四松田中周子さん、三楔が かしくないものである。これらの べき楽晴らしく立張なレース縁のして縁上げた努力の結晶とも見る

三松志城美華子さんのケープ 中規佐子さんの同じくテー 四松城武子

も対なしかの変化を関う

そのい

となり

ます

軍手現金卸 千金の滋養物 湯胃病には

擬替東京二〇〇二二 電話小石川二九五大

名乗タラコン

前化吸收を完全にし、係額せる飲食粉や分砂物を摂着して冒険内を部門に変タラコンは、疲弱し、強敵し、衰竭した胃臓の機能を復活して 胃腸を强健に 青春の元氣を養へ 度部にし、大小低温を整へ、本ではなりに観音であった。 を確認して背系の活気を更な を確認して背系の活気を更な を確認して背系の活気を更な を確認して背系の活気を更な を確認して情系の活気を更な し獨特の便質性能力を 揮して

薬脈一の和昭

となり となりも 7 心頭亦凉し! ●満洲の温泉 新人に喜ばれる 最新焼香油 芳 香……絕雅 つけ心地……爽快 整ひました 上十一個

利の月なら冴系渡る ーシンのんだら気が晴れる

かな仕立てよ

ヘルブで武装せよ!

心かけませ

核戦また接戦

遂に無勝負

きのふ中華青年團

も開催する

聯合繪畫展

満洲美術界賑はん

東川武康橋木 瀬 下川連 定遊二三中投一一投右捕 大き続きつて以

スケヂュール決定す

試合の

農村

らし

に福

音

野一

金肥を半減し或は使はずに

東京町一色電気研究所出身(播房町電車停留場を入事で町一色電気研究所出身)

場で挙行される

不年度の役員も選任

・州内外ピックアツブ

本年度の新

し州外のみ 烈病線 (午

村不次の今日、金肥を飲い た者が全層的に押山ある。

周金もうけの力を雇用しての法を

石川大塚仲町四一日本土地戦良祝 は海群しくは強朋者である東京小ば海群しくは強朋者である東京小ば海群ない

明める

ノージの頭痛にノーシン

近化機通信學校二級服务送れ

上事の御

大連市監部第一〇九番地

第、玆に要決案を云ふ震家にさつ 上も、乗職で五割六割も常収を事業の肥料を歴に就て八巻敷い近 を駆げた者、其他に確築で干割以

あらゆる農作物の増收が出來る

つ事工事へ

動力税 田次に鑑み當分の間有機改善力税 田次に鑑み當分の間有機改善を組織して管内一帯の非常が減を行ったが、倘今後も最近常野派を行ったが、倘今後も最近に関する。

ラデリ

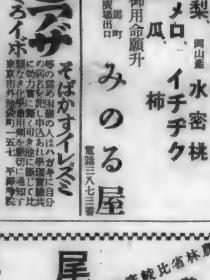
兴 (午錢三

三味線築造の兩師 河元壽浦太夫並に

迎演奏會

0

多少に不拘御用命願升 なはつくがが 川 イチヂ 水 密





現場を掛め小洋三十元を建築して短刃を所持せる五人組の場合即入 一乳酸にて被害を受けた家があいませる。 一乳酸にて物質を受けた家があった。 一時間機能支売町にても に華娟を監禁 級り祝人教授中であ ウオターマン萬年筆 アメリカントランプ

四時代より同コートにて銀行の今十七日はメンスシングルを午 襲地の 日川 H

げ込む様は嫌い

強温の

00 11 14

醫 四五品電

材木商を

8 宅 敷島町青年會館 風京東獨 界各國 6 東京風菓子謹製 太利藝 0 酒 おぜ 術品展 大利大理石彫刻を引太利フロビンスはあ 3 友い 0 00

准決勝戦で 全潘都市對抗野球大會 一一街敗退 関領切に投手を代へる 八人對三のスコア

大原、川上四平街先成的合體過去 大原、川上四平街先成的合體過去 大原、川上四平街先成的合體過去 大原、川上四平街先成的合體過去 大原、川上四平街先成的合體過去 大原、川上四平街先成的合體過去 大原、川上四平街先成的合體過去

無順を屠る 終始大いに緊張す

歌一二三四五六七八 九計

(午後二

(特定、機跡、各地相場)ユ 一一時一一時 各地

各地

第二日目の成績

梨前朝鮮總督 皆 0

検事局の召喚を見ん

き雨 銀は **浪速町**

山

約

店

五日

るべからず に知るべきのみー たい新カスケード ピールの味こそは 眼を覆ふて物は見 獨逸

所謂お腹の掃除に

食傷による下痢と腹痛に

くなほる

O 大連汽船 出机

生殖器障碍病 性病粉性下 是語五二六0 上醫院

資合

一团速浪

頭やめなら あがれ!! む カジ 早い かす

御旅行の事は 事公公公司

室室

男岩

心町番州

うまい路酒

中三河南十八

科

本館吉田久四郎商店 13

英海軍専門家の觀測

現狀の儘だらう

中央と奉天の関係は密接

露が譲歩する迄

東鐵支那幹部硬化

當分露の態度を觀望

露支兩軍國境を挾んで 期に亘り對峙

露軍は二三日以來續々後退 令籠りの準備に着手

電話復舊市間

国境を挟んで兩軍の戦時相番長期に取るべく欧亞連絡の復動前後型自動車を聯せ低級してゐるが、其後嬰化なく野農軍 冬午能り 準備に前線に在った緊慰軍は二、三日衆版べ後退しつ」あるも支那軍の奇襲を恐れ

面の電家開軍は多の理備を急ぎ大とンとの電話は開通した「ハルビン特代十六日登」即境方」め荷物を徴載中である、 ができる。またヘル のでは、ボックの高端 を変したとあり十五日は何等瞬 を変しままりなし、ボックの高端 のでは、ボックの高端 を変しままする。またヘル

赤系子弟の 晝間中學を閉鎖 哈市教育廳長警察権を以て

青を悪化し脚乗するものだ」とあ でを開催した、理由は「特別區の数 借りて来て据え付け製成下で でを開催した、理由は「特別區の数 借りて来て据え付け製成下で あるが、旅駅司会部がら高射砲を からの駅電数下で あるが、旅駅司会部がら高射砲を でを悪化し脚乗するものだ」とあ 開ロシア人の各種で 滿鐵製鋼印

利計算によ

設立

計

畫は

业直す

岡理事主·

こなり社内の權威で

職職で依然として現状のま、進み之 に芽が吹いて来た に関いるの間でを描いだ に芽が吹いて来た に関いるの間で事件あり東支の支那 政職に有利であると再び駆倒論者 大門道 上 士郎の登表に行悩みの間支交渉に更 を用めるかを観望することが東北 大川道 上 土 大川道 に 土

赤衛軍に支人

した警察官練習生

受くること」なった、 偽器會社と 総散して軍艦反動覚視を行った。尚閣會社 ペスレヘ人造船會社職社長エス、ールス、シュワップ氏外二名及び 日ニューヨーク造船會社長テヤ網小反動管機事件に関し來る二 李島会本日酸表に依れば海 トン十四日発電』米國上

責任者審問軍縮反對宣傳

揺かれた誰では

に興便なり

りとて比特殊旅客の輸送までを止める。 は、荷物でない、旅客でない、宣 に返ると、晋等一般に航空の利用 に返ると、晋等一般に航空の利用

能なるべきを確ふ、容器範便の民 をを確なるべきを確ふ、容器範便の民 を表表のである。 東京ので 新るの

の目的を受けて満足な

らは」の文に「電熱」の二字を加正・十四日本欄五段六行「是か 徹底的に檢學す

仙石總裁は

綱紀粛正を目的に

新京阪、伊勢の各電機會社及び名 一部に出中には直役連の被事副に を 召喚に離を受けてゐるものもある と 優適に戦しては歌融脈から濟水獣部 して石炭底事件の中門勢電機の と 機適に戦しては歌融脈から濟水獣部 と 機適に戦しては歌融脈から濟水獣部 と 機適に戦しても亦今明日中に取跡 と 機適に戦しても亦今明日中に取跡 と 機適に戦しても亦今明日中に取跡 と が出張反脈をしてるるが、名古屋 下に飾く現内隙は戦形脈正の名目の が出張反脈をしてるるが、名古屋 下に飾く現内隙は戦形脈正の名目の が出張反脈をしてるるが、名古屋 下に飾く現内隙は戦形脈正の名目の が出張反脈をしてるるが、名古屋 下に飾く現内隙は戦形脈正の名目の が出張反脈をしてるるが、名古屋 下に飾く現内隙は戦形脈正の名目の が出るものと見られてゐる更に現政 い形勢である がある。 が形形のであるか見込みのつかな がある。 が形形のであるか見込みのつかな があるものと見られてゐる更に現政 い形勢である

來月中旬來任か

の病勢は快方に赴き殆ど全快した一來佐の時期は來月中旬にならると略文書賦長の既に依れば仙石總裁とり多分今月末退院する運びになり、大大能にも面衝を謝絶して居 山崎文書課長歸任談

生一行四十七名來連したが、B 大日へルピン丸で開東廠警官級 大學出が七名も應葉 藤井警部けふ引率來連す

あるが、斯くの如きは 機すべく命令したと専 したと専 したと専

▲容庫職太郎氏(九大教授) 心幹氏(補據文書課長) 氏(小野田セメント専 來調

宗男氏(日本製綿會社員)

かも知れぬと して新継哉、耐味地の本問題に對 を選ぶるれば打 は、までの臨時の研究機関でありその 大平に總裁は、までの臨時の研究機関でありその 大平に總裁は、までの臨時の研究機関でありその 五減3外限人五九一(同一三減) 三〇八者)和は人一〇四八(同一三減) 三〇八者)和は人一〇四八(同一三減) 三〇八者)和は人一〇四八(同一三減)

太田關東長官

戦會を設置に決定

氏(宇品陸軍運輸衛軍

大觀小觀

となってゐる。 が問題は世界的、大西洋で太平 米國にもシャラーの長気が問題

巡査の應募者が 定員の約二十倍 一下天 飛ぶ様に賣れる キッコーマン

に失した。 有能器職先便能に失した。 有能器職資組合 は のに実務を南京委員に託し のに実務を南京委員に託し のに実務を南京委員に託し のにより、有能器職資組合も関

極銀支店も遂に引揚

日米の補助艦比率 日本の態度は最も重要視さる

変電」等とW なるに构造するに対象に 変更で式會議代表に でするに対象が表に でする。 では今朝着では である。

朱紹陽氏北京で話る

陰謀を警戒松花江鐵橋爆破

守備兵を百名に増員

とこばし正式金融地東京殿に標準 つよるりとは東支機の紛争常歌か るので歐重院解を行ふにとになり 大海軍 専門家の 現 して
「本の態度は最も重要視さる
「本の態度は必要であった場合と概念であるが、支渉戦があった場合を考慮し機に
「本の態度は変異などであった場合を表慮し機に
「本の態度は変異など、
「本の態度は変異など、
「本の態度は必要であった場合と、
「本の態度は必要であった場合と、
「本の態度は必要であった場合と、
「本の態度は必要であった場合と、
「本の態度は変異など、
「本の態度は必要であった場合と、
「本の態度は変異など、
「本の態度は変異など、
「本の態度は必要であった場合と、
「本の態度は変異など、
「本の態度は変異など、
「本の態度は変異など、
「本の態度は変異など、
「本の態度は変異など、
「本の態度は変異など、
「本の態度は変異など、
「本の態度は変異など、
「本の態度は変異など、
「本の影響であった場合と、
「本の影響を影響であった場合と、
「本の影響を影響を影響を影響を影響を影響を影響を影響を影響を影響を影響を表して、
「本の影響を影響を影響を影響を影響を表します。
「本の影響を影響を影響を影響を影響を表します。
「本の影響を影響を影響を影響を影響を影響を影響を影響を表します。
「本の影響を影響を影響を影響を影響を影響を表します。
「本の影響を影響を影響を影響を影響を表します。
「本の影響を影響を影響を表します。
「本の影響を影響を影響を表します。
「本の影響を影響を影響を影響を表します。
「本の影響を影響を表します。
「本の影響を影響を表します。
「本の影響を影響を表します。
「本の影響を影響を表します。
「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表します。

「本の影響を表しまする。

「本の影響を表しまする。

「本の影響を表しまする。

「本の影響を表しまする。 石に就き岡理事は次の如ぐ語る石に就き岡理事は次の如ぐ語る 根本の基礎から 詳細に調査

北満の勞農機關

委員長は大平副總

大連と海上八人口
「本天神・十五日歌』太田嗣東長 月及び人口は左の如く着しき増加 には十五日歌北陸別既における張 には十五日歌八三、〇五一(前月に比し 原公順を観察し城内省長公壁、交 八二一増211月、二九七(両一四二 館に於て儲された武大な暖盤館に 九骨)市内三四、四八二九公同一 配席した の型〇者

十六日午前十一等五分新艦艦艦列 濱口首相關京

伊國開員 更迭事情 既に入った

変さも進だしい。長知 の水ること 能をまたにかけての大仕種けだけ は難手したといい。 調節は特くも、多ごもりの無懈

念の事業は繰延

満鐵の明年度豫算編成方針

大平副總裁の意見

黑田男嗣子鄭

はぬことになりはせぬかっ の外妻でも借りて来れと、間は食

SPE SPE SVX

分の

この温智館は大千世の場合と

東で来た。

42

て女に溺る

老父から保護願い

細胞に情婦と共に

の原度が斯く強硬なる以上、独も

り借用に及ぶと

ためその

柳野中死亡せる

ため一家を支へるのには

出し何處ともなく姿を消した沙河

快來(羅)六階級下 一冊

常勝軍早

大敗れ

東領や緊縮方針を吹

案縮風を吹き飛ばす好景氣 新築中の主なもの

く。いま職職大連勝市街を見るに 大下ノ野はなパラック式倭屋など たアノ野はなパラック式倭屋など たアノ野はなパラック式倭屋など たアノ野はなパラック式倭屋など たアノ野はなパラック式倭屋など 立覧的にさへなつて行く傾向 合等既に竣工した 門公園町の消費 下の大連々館画 成は強工に 附近の新年

一次性の結果は自然の特別では

東ホテルも昨今駅に平

屋に向ひ合つて山田三平氏の工費。 の工費五萬圓四階度五百年のまた。 は唐舗を緘院となる支部人陳英氏 退速町と 学以上の工程を急ぎ たし、之と相

自分の 家が を誇つてる ある市中

巾をきかす時代

満洲を故郷とする氣分から

一原から住宅地

容してゆかねばならぬ大連である。

な地は大寒べんに薄れて行く、今ま地は大寒べんに薄れて行く、今年住宅になりかはつてみる、清かりにつてみる、清かりにつてみる、清が間事のだからになりかはつてみる、清かりになりが、

家として、既に満洲を故郷とする かんにこしらへる。快遜な自分の ・ 快遜な自分の

官会が概を

目分の家が

いづれは百萬の人口を

現在三四百の家が蝦舞されて

し非常な危険である。十日 から成る思味」が村からい 利以來北浦地方には多数

満足なる健しは困難なるべく折角 色テロリ酸が護期を指 向で中には赤沢と連

昨夜萬歳街に

ピストル强盗

小錢と金指

を強奪し

主人の機轉で逃げ出す

秋の温習會を控へ理事者側こ

派と睨合ふ

女紅場揉め

氏招聘から

大連放送局では十七日午 野球中繼放送

網げて職然たる勢力を有し現何の紅海の大具所として各強級に手を情勢である。また一面には大選女 中止となるでも知れないの散撃く遭戦ながら

遺骨を

本語し海客標各位の衛帯語 は個人に触めさせます は個人に触めさせます は個人に触めさせます は個人に触めさせます。 は個名標の海望み 11日本

早商高等小壁校は強く地震中であったが能々等成したので十四川動物を終了した 早苗校落成す

市四大山通

輪貨物

中古自動車格安多數二七年シボレーニ臺 二八年クライスラー三臺 二八年エセックスニ八年エセックス 一八年エセックス

大日本忠爱義會 0

6

大會 ではいる で来たのだが大連で講演し夫 れから採順に十日許り潜在しオ イルセイル事業を観察するつも りです

生四十五

121

平梨園 の名花

神秋間が道つたので最近小崎・居 ある。平日は大、七十時位である がこの一勝日は既に雇え十五日は がこの一勝日は既に雇え十五日は でに既に三百七十九頭と言ふ魔地

宮崎領太郎氏及び農井郷三歌神は ・証練が野宗三氏、九州部大教授 が山崎文書郎長、海道・歌田セメン が山崎文書郎長、海道・歌田セメン

全滿籃球

來る二十二日に舉行

一班人でないかと見られてゐるかつたが兩端上剛都店の謝整と同

朝鮮仁川に

虎疫發生

鮮人積々罹病

仲秋節で豚の需用激煌

けふ午前十一時に約四百頭

恩 維銘來演 々協和書館で開

特派機歸る

来つたもの」不平に なしとせず暗に策略 なっちれ從来の四胎 本の内に なっちれである。 版が従来の地位を失ふの 哈爾 と見られてゐる **類郊外に**

東東城特集十大を政」京歌道仁川大 原清郷水里に九月十三日二名歌 中国 し代川市縣 歌にで十五日以際、中国 し代川市縣 歌にで十五日以際、中国 中国 に一名 要十六日 明六時 中国 に一名 要生を見た、 福殿者は 1000 に 1000 に

馬賊團橫行 松花江鎌橋を襲ふて大騒ぎ 路支紛糾で益々猖獗

年書である。

防疫に狂奔

九月十八日午使四時半

ラ酸生の報告に終し京都選集中部 【京被機関十六日聚】仁川にコレ

り開催される全層選携野球大会の けふの入港船 時化で遲着

十六日入港はるびん丸は途中風浪

第二部 大淵 Y、M、C、A中澤 第二部 大淵 Y、M、C、A中澤

大海ニ中、大連ニ中、大出場決定デート 本門無検程度以上及び一中等単校のみ つた

よりは十五日、本帝よりは十六日 機山按師急遽出張したが十七日は 機大弊襲部、吟歌より影師十五名 た襲十名の君謙解を派逐し下流附 と襲十名の君謙解を派逐し下流附 苦力頭の喧嘩

額像と繪畵

なら

者 ◇美しい寫眞人カベカケ 黒丹神代杉製短册推

黑丹神代杉製短册掛

ここが大明小田 常盤號額操店

誘き出し毆る 片岡町重州師 富古祭作が設備に沿し全快謝状頗る多き再發

第一天堂 主風呂崎 は御本堂下さい へりチャッテージあんぷく 大連市美速町二五電大大人へ にんしん按腹

連後で病気

周年紀念割引大八月二十日より九月三十日よて 準備車輛一幅積の各種一個半積 大 大連市吉野町二〇 **興具附屬品** タクシ 電話三八六九 割五分引至 商品四二六六

盛いる E 0 家屯 近

覇權は明大軍

建二日は十五日午 全國學生水上競

あ、大正十二年度に於ける強工学 の続ーをはかり、又會員間の油工 の続ーをはかり、又會員間の油工 の続ーをはかり、又會員間の油工 の満一をはかり、又會員間の油工

油工統一と生産調節

會員の紛議調停

原料及製品の需給狀態調査等の事業

c.....大連油房聯合會 四

戦物類の影響は

ら金幣禁のキの字型も響かんでし

建築せれば低下土地は収上げる

送炭五分減に就て

撫順炭は除外例を求めん

満鐵、回答を留保して考慮中

33 十四日現在戦戦 行高は左の和し(単位間) 現行編則 八七、一七九、一六日 現行編則 八七、一七九、一六日

等の無分が各方面に渡つてるま は引援さ十二月末迄の送炭五分は引援さ十二月末迄の送炭五分は引援さ十二月末迄の送炭五分は同答を保留してあるが場合に を回答を保留してあるが場合に を回答を保留してあるが場合に

中秋節ご 根景落によって華商中打撃を譲つ 大體平穏に推移 大體平穏に推移

B

ではなるし、金はなるであるです。 引導つたよ、影響はよし、眺望 はなるできるできるできる。

野本回覧を多くする事に事心し野蛮、店員は耐般貯蓄主義で、

一人一言

めに多大なる勢力を携ふて居るが政府當局がメートル決世傳のは

別上受くる便宜は多大のもので 関数して最早十年となるが実地 関数して最早十年となるが実地 居り、開原、公主機、長春等行 になる協め取引上非常に不便 区で沿線取引所を統一すれば あるがせめて大連取引所の如く あるがせめて大連取引所のから のでは多数では多大のもので

MAX は要職すべきで賦に形 響を掛くして解棄しやうとする ならば原々たる面目論の如きは 放棄し一時平價を引下げても我 である事は何んでもあるまいと

各地商議の

内地經濟界は

不景氣深刻

飛行機で歸連の石田氏語る

産業界を顧慮せぬ遺方は不可

銀崩落金昻騰

鈔票六圓臺割れ

話はない」と一懸否定しつゝ左の店長聚販説に就いて「未だソンな店長聚販説に就いて「未だソンな

白米更に騰貴

大連米教司家組合要表の十五日現 在市内市米小養師、地は左の如く で前回に比し朝鮮米は二十世の各場社を示した 原内は既報の通り帰鮮米は二、三十一 原内は既報の通り帰鮮米は二、三十一 原内は既報の通り帰鮮水は二、三十一 原内は既報の通り帰鮮水は二、三十一 原内は既報の通り帰鮮水は二、三十一 を地及び大連在庫品の挑衅のため で、新米日曜りまではなほ高値を 十三瓩、一袋三十瓩) 「特等」以れた。12.50 12.60 本、50 12.60 本、50 12.60 12.60 本、50 12.60 12.60 12.60 13.60

大元(初物) | 一大元(初物) | 一大元(初物) | 一本高 三率 | 一本高 一高校 | 一一本高 一高校 | 一一本高 四千五百四 | 一一本高 四千五百四 | 一一本高 三率 | 一一本高 三率 | 一一本高 三率 | 一一本高 三率 | 一一本 |



る判刊一立族計画百 ーダンレカタネグマ 財泽に池電。,B 店 理 代 所製出油電乾日朝 町島ノ江天幸

たい満洲の景氣は何うなる?日 商賣人らしい 甲と乙の對話 漫

日・銀安と輸出入品の関係をも少 下るとして其後は一種何うなる上海製品の輸入 下るとして其後は一種何うなる

雜穀解禁を請願

支那製粉業者等より

日午前十一時代から總面館に合合し口時は撮影を依止せればならねと機態別等者職部店の各職館は十五、一般の無粉更者は緊張の見込み立た機出禁止で打撃を引けた支那機器、禁を議職することに決議した十七十七十七十十

視察團來滿

東に二商議から 意識所製器圏が栄達することは既 報したが更に似葉所選二十一名は 九月十九日、富山商職二十一名は 1十九日、高知商職十三名二十九 日は何れも栄達する部

機筋 延十月末 三五〇 二〇 田 延三月末 三五〇 二〇 田 延三月末 三五〇 二〇 田 延三月末 三五〇 二〇 田 英三月末 三五〇 二〇 田 東高 六萬牧 紀本高 六萬牧 紀本高 と當市は無票安に買無渉くれたると當市は無票安に買無渉く か定期 値 段 相動時間 約定期 値 段 相動

東・引寄り寄

八、千公集其他の諮問に駆するこ

◆…だからこれを然う無理せず れが通つても探算出来っ方法に





366 2

昭和四年式新型セシター

育に於て是非お買上を願ひます

價定

八拾八圓五拾鐵上り

コンごお迷なく改良に改良を加へ

察官新

叫

部

者

立 期

會 す

0 8

上 為

店め

頭 警

行

す

籤は

公

平

4

類似品の多い今年の暖爐界は静か

徐宗神氏者明代女が一生 野中時雄氏著

仲士 (積卸) 苦カの研究 龖

二記念大景品付破天荒の大賣出し

御買

上

12 3

對

L

登

枚

0

抽 壹

*

差

上

げ

ŧ

す

HEI

は

七

2

ス

-

7

三、阴業廿五周年記念 一,商號改稱記念 (備洲線代理店) 大連伊勢町

(本年五月大阪行幸の砌り天鷹の光榮に浴す) (元愃六本店) 製造發賣元 大阪 山本最商店 久保洋行

(日華火)

Ė

参等 急加 演等

賣出期間 抽籤期日 同 年三月十日

萱等 塗料 參拾圓 五拾圓 壹百圓 四百圓 **貨拾圓** 昭和五年二月末日迄 圓 (壹個二十錢) 同 同 同 同 勸 債劵 15 五 二十本 三十本 廿五本 十二本

約 店 (同不序順)

大連市伊勢町玉八。大連市奥の四三 大連市若狹町一七三

大五二五

愈州東門街

洲

元

知つて 頭痛を忘 3



(手切品商) 店商村西 都在三九周君 地带二〇一酒酒

五三六四是被九十場市町滯信



主力艦建造休止を

初鮮を經由して

更に五ケ年延期案

米國より軍縮會議に提出する

に別場けたが、消塵にて教養を受し、 を関すがは、 を関するとは十五日午後三河車にて を関するとは、 を受けるとである。 をである。 をでる。 をである。 をである。 をである。 をである。 をである。 をでる。 をである。 をでる。 をである。 をである。 をである。 をでる。 をでる。

四、通信殿、合計十二名で教官が 指揮し族及び燈火の信號並びに 常話を備へてある。 元十餘種類三十萬枚の印刷物を 用意し奉火を始め吉林、長春、 哈爾賓、滿洲里等の各地方に宜 傳する筈である 以上六號に分れてゐる

客 のは宣傳が大分で相な動品して見 である。 ある地方事態が共産業議論をする である。

威海衛還附交涉

近く再開を見ん

難關は管理權の歸趨

蔣介石氏が

反蔣聯盟説に憤慨

勞農智識階級の

反革命陰謀暴露

中学学のられ、アメリカは一萬順級 中であるから近く学が、
一方になる事となるものと判然さ を保持する事となるものと判然さ の審異に於で英國公使の意見は の事態に動 のを選出するから近く交渉が を関いるから到 の事態に動 の事態に動 の事態に動 の事態に動 の事態に動 のを選出す の事態に動 の事態に動 の事態に動 の事態に動 の事態に動 の事態に動 の事にも の事態に動 の事態に動 の事態に動 の事態に動 の事態に動 の事態に動 の事態に動 の事態に動 の事にも の事態に動 の事にも の事にも の事態に動 の事態に動 の事態に動 の事にも の事にも

強制訓令

濱口首相天機奉伺

【東京十六日發電】 隣口首相は 六日午後二時宮中に参内場后を 海濱艦につき天機並に御機能を

區域的法權撤廢を 文が秘密交渉

南夷方面で頻に宣傳兩國の通告回答は妥協の上作成

草に臓

等を左のの本質方

(日曙火)

反蔣運動の

謠言取締

及回答は強じめ米支 て米國との獲物支援は來年一月よど裏面に於いて秘密との散聴ら傾へられてゐる。而し近裔支方面に たるものである たるものである である である である である ものであるといづてゐる。

と『東京十五日發電』編序を記し、大略骨島問題と称を切底し、大略骨島問題と称を切底したのたが、補充二名に対すことになったが、補充二名に対するに対するに対するに対するに対するに対するに対するであらうという。

三

新關東廳裁判令

一兩日中に發布

訴訟が簡便になる

運動方針 組合等の確立を關る 根合等の確立を關る 一、繁剛組合、農民組合、常給者 相合等の確立を關る 一、黨軍に當選を輕視せざること 一、黨軍に當選を輕視せざること 一、黨母に當選を輕視せざること

暗雲 上海の邦品市場

別された

排日貨漸く具體化

本年十月一日司法記記日を期して
全國一常に施行せらる」改正民事
一時日中御殿町を帰ぎ大家直に朝
一時日中御殿町を帰ぎ大家直に朝
一時日中御殿町を帰ぎ大家直に朝
一大。而して今回の歌を終り十一日送聴局の嶽瀬を終り十一月とあつたが改正法では二ヶの殿間に依り従来の開東勝殿判事を終り十一、控訴上告別間は置述では二ヶ市間は代表の監督である」こと」なったが改正法では三ヶ市の大部は代表の監督である」と表示には新疆の取下はは母素をかったが改正法では一次の国に改められた。
一大の正法が訴訟を迅速ならしむ。
一大の正法が訴訟を迅速ならしむ。
一大の正法が訴訟を迅速ならしむ。
一大の正法が訴訟を迅速ならしむ。
一大の正法が訴訟を迅速ならしむ。
一大の正法が訴訟を迅速ならしむ。
一大の正法が訴訟を迅速ならしむ。
一大の正法が訴訟を迅速ならしむ。
一大の正法が訴訟を迅速ならした。
一大の正法が訴訟を迅速ならしむ。
一大の正法が訴訟を迅速ならしむ。
一大の正法に表述を完全ならしむ。
一大の正法に表述を完全ならしむ。
一大の正法と同一体項に

義務教育 午後に入り 益々白熱化 全满軟六庭球大會

全滿硬

球戦

選手權獲得

ン七度

長春の新領事

十五日より始る

順族ド

東京 では十八回全米シングル にはまます。 では十八回全米シングル には 10日午後央 います 10日 年後 大き 10日 年 10日 日 10日 日

日 「東京十五日愛電」千九百十一年の製造休止を行ふもので、此の信なり、日英米の上三日の彫明によれば来り、日英米の上三日の彫明によれば来り、日英米の上三日の彫明によれば来り、日英米の上三日の彫明によれば来り、日英米の上三日の彫明によれば来り、日英米の上三日の彫明によれば来り、一直、東京十五日愛電」千九百十一年とり、日英米の上三百の彫明によれば来り、一直、東京十五日愛電」千九百十一年の製造体が、アメリカ劇を提出に関わて、一直、東京十五日愛電」千九百十一年の製造体が、大大なものがある、然と海軍のかにされて居る。即ち右は千九百の方法を主張して居るの方法を主張して居るの方法を主張して居る。

教育費負擔增額 決議文提出

年度より働くも三千萬圓以上の増した『東京十六日發電』全國町村大舎「親を期す」との沖縄を可決し正平。『東京十六日發電』全國町村大舎「親を期す」との沖縄を可決し正平 國町村大會代表が首相に

新勞農黨は

| 東京十六日韓電|| 大山敬徳|| 大田敬徳|| 大田

綱領は準備會で決定

末に結黨式

民政黨午餐會

【天津】今度天津鎖半田代彫郷氏 本人士の殿灘せる此の一面であつ 【天津】今度天津鎖半田代彫郷氏 た、棚度の近世に房々した黒蛇 を後になで付けた處は如何にも新 としてが長さるを得ない、田代氏が 度ソッファーに世事を護ずる時代 度ソッファーに世事を護ずる時代 度ツッファーに世事を護ずる時代 度ツッファーに世事を護ずる時代 の 前き信載は駅前した場合として部 の間を居然たる一個の峭壁である。第の間に居然たる一個の峭壁である。第の間に居然たる一個の峭壁である。第の間に居然たる一個の峭壁である。第と思はす関本的な焼男子であ

第二囘太平洋

朝鮮博覽會

大十一(館、精楽な考館)

胃臓の思ひ出

神の一次一次一般は田胤雄

食を加へて約二百名。之を順幣別

日

大團圓を夢みて

国 目出度うの又僕の通信を一々僕の か知れない、早く來てくれ絵へ、 門 君も御宅の皆様も御塗者で何より ある。又陳親もどんなに安心する り か知れない、早く來てくれ絵へ、 時 からの御手紙を有難く群見した ぱめに倒意見を承りたいと思つて のは

仕満内鮮人に 朝博利用を望む 鮮 博覽會

を謝し併せて今は は構内鮮人の朝に は構りが大の朝に は特になる。 今村殖産局長語る 地に在る「胸者をしつかりと

一日目入場

地の五名は十六歳と十八歳の末次 地の五名は十六歳と十八歳の末次 地の五名は十六歳と十八歳の末次 地の五名は十六歳と十八歳の末次 地の五名は十六歳と十八歳の末次 はの五名は十六歳と十八歳の末次 支那語會話

に臨で待ちませう

に臨で待ちませう

に臨で待ちませう

に臨で待ちませう

に臨で待ちませう

に臨で待ちませう 第二十二回 第二十二回 第二十二回 第二十二回 不行、那是三號

の関車に乗りませらのに乗りませら

場でも選集く元件を登見された 市内でも関ト線路通と光化門通 た外間じく同點で六月以來市局 た外間じく同點で六月以來市局 にの五名は十六歳と十八歳の一

給木丈太郎 電話四六九二番 モミ 機能機好みの方は

日底町 金三七四七 まっそ 日底町 たじまや世六六〇二番

す、ありや三臓で

頭痛にノーシン

歌 鍵でのまる月治る 来りは所つめ主外地 密は観測をたに極数磁位 14 13 12 11 10 9 8 7 6

黄方速くお乗りなさい、御遊園

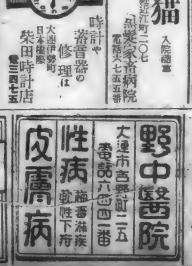
で結構です私は切符を買ひ中の方へいらつしゃい

黄方切

等出し(三〇六人)番へ

令 大製 和 大 尤 連 圖 洋 連 大小紙の O

X 光線 東國語五段前田久郎 東國語五段前田久郎 題方調剤 藥剂師…友田差師



科器尿淡毒梅廣皮 醫富 各八二王七档里

店商原中二八町濃信市連大

地で君の楽満のついでにも一つの て下さる日は宋だ何時の事か除ら を たのだらう。君が二人の間に入つ る へ無質論で終り、全 たのだらう。君が二人の間に入つ る へ無質論で終り、全 たのだらう。君が二人の間に入つ る へ無質論で終り と で から足が抜けなくなるのだよ、全 と 使、 男同志が承領が合して終って が から足が抜けなくなるのだよ。 と で から足が抜けなくなるのだよ。 と と で から足が抜けなくなるのだよ。 と で から足が抜けなくなるのだよ。 と と で から足が抜けなくなるのだと、 と と た のだらう。 君が二人の間に入つ る へ 無質論で終り

川越總領事

大連自動車運輸子等業達成金融合 大連自動車運輸子等業達成金融合 大連自動車運輸子等業達成金融合 大連自動車運輸子等業達成金融合 大連自動車運輸子等業達成金融合 大連自動車運輸子等業達成金融合 大連自動車運輸子等業達成金融合 大連自動車車線者所電ニー三四五 大連自動車車線者所電ニー三四五 大連自動車車線者所電ニー三四五 大連自動車車線者所電ニー三四五

大連流河二〇七

多元確實 一日和远響順多拾錢 學別派選 两公園町五七 等別派選 两公園町五七 等別派選 两公園町五七 東小身際局 学園大大の大・

安部版の準備本機型有日安部版の準備本機型有日

生乳 たら火正牧場 (一番) 「大学 ロバン 東語 大大六〇 日本洋行 パタークリーム 大漢牛乳株式会社 鳅 適治

牛乳

大連市吉野町七十一(三世伊勢町中間) 医学博士医治

一家の地より 中國s友、送る 當選作

□ 三行 回金八拾五载 □ 大行 回金大 拾 载 雷度全大 拾 载 雷度全大 拾 载 雷度全大 拾 载 雪度全大 拾 载 雪度全大 拾 载 雪度全大 拾 载 雪度全大 拾 载 雪度 全大 拾 载

本でも 料三・ 「版」 で 高級 の で あるが 入城 職職者 か 解ら の 歌歌は 勿 総で あるが 入城 職職者 か は か 十二日 入城 した 荷 職 戦 歌歌者

出の三三三話電

場 馬 場馬ルトクド

小鳥エサ器具一式繁愛カウベ (漁州飼馬展業部へ小島の家)内カウベ (漁大學校カウベ、(漁大學校) カウベ(漁大學校) (大島の家)内 (大島の家) (大島の家)内 (大島の家) (大

ホネッギ

銀属電氣區の白軍・風援圏山岭

上太田長官は大栗左の如き探抄を され在留邦人並に露支人の官民多され在留邦人並に露支人の官民多

の緊切なる補償的線各地の観信に就きましたに依り最も同一

郵迎宴盛況

内外人多数出席し

機秋季運動自は十五日午前×

12

天

体情に恵まれた 満鐵運動會の 慢勝旗は黄組

ルドでござれトラックでござれよく揃ってゐる、腱投戦はなかつた はが真心からほどばしり出る生徒の 比上腱捉したらどれ実勝つことか れ上腱捉したらどれ実勝つことか

二對零で 第六區は、古質初市(場)伊東部東六區は、古質初市(場)伊東部 第六層は、古質初市へ出現する模様である。 立候補を宣

西部五氏とアロ部級を代表して立西部五氏とアロ部級を代表して立西部五氏とアロ部級を代表して立西部五氏とアロ部級を代表して立

題は

早大軍房つ、閉戦午後四時半等は総合時間がによく戦び三騎者では総合時間がによく戦び三騎者で

支那兵に

刺さ

り影を授したたい機の者がかす舟を近常せる。小舟は再び漕ぎ で、一大変のでは、中山省を続ける大道といいのでは、一世むを得ない出記する。空は盛つとなる。

今日は黄山疾豚の準備を整へてから領事館に至り安備通路を調べたりながら、いろのは村田氏の宅で大人の心をしのをは村田氏の宅で大人の心をしのをは村田氏の宅で大人の心をしている。

南旅行

部

き時の過ぐのも忘れた

での優勝談に花が咲

200光が水闸に揺れて後方此方に がる。夜は彫く勝磁池の汽船の電 がる。夜は彫く勝磁池の汽船の電

をは渡し舟に凡てを任せながら暗さいから間があるのみだ、私

更稱更大觀社

になり様上で同氏の歴生當時練習ったが補頭のヘルクに行つた。日 清の大指主任の厚意で養低の軸定

は更けて午前一時に の間を左右に交帳。 の間を左右に交帳。

頭が客を呼んである、民船の定路である。 は荷を通り取ける過頭である。 神正街といふ。 がってある、神正街といふ。 がっている。 神正街といふ。

| 概を最業公司に翻渡する件は、公 | 司經宮中は駐鹿の生活を保証し得組合間の水霧間線及び鮮人の小作 | の現金を支援ふ車とし同農場を公無戦に於ける脚型公司鉄ビ人農民 | 司服より農民組合に金一萬五千鵬 農業公司が金を支拂ひ

志新聞職保者で判職からも官民有 地に集るべく激励からも官民有 地に集るべく激励からも官民有 が地に集るべく激励からも官民有

解決す

地方委員選擧と 公 主 間一糸臓れず終始する處父兄來致 小寒校の飲育會も秋味れの十五日 小寒校の飲育會も秋味れの十五日 艦大を加へ行く駆は賴田しき纏みの喜び場にあふれて居た。年一年

馬城園

討伐隊副官

虫の響、英他荒れ性の方 ひ、がんがさ。しらくも様 ひ、がんがさ。しらくも様

定期

陣頭に立つ人々

漸く暗中飛躍を開始

十五日濱陽へ

氏会職され、特に理想選挙を標榜 上方義正氏、大官屯職長版村憲吾 上方義正氏、大官屯職長版村憲吾

資金の如きも各人持審り

淨化運動を起

静速し指根元三、贈吉院鮮氏等を 型に又立候補を宣し、東郷境は叫 が、として起ち、塩幅が成し、東郷境は関 が、大は、運輸方面は土生統介氏 、東郷境は関

大尾海嶼離長馬頭の影響なだし礁。 大尾海嶼離長馬頭の影響などとなり、繋谷文平氏は近く政る間繋を指述となり、繋谷文平氏は近く政る間繋管を指述する事十一名と、繋道関係は前記版付氏の外に

右に就き大林器長は語る 無順に針任して以来斯る面倒な 事などの豊力で相互に至極都合 する者もあり林總領事や文副領 する者もあり林總領事や文副領 よくまとまつてゐた舌し下をデ

全く解決した 際である

尚ほ續々と立候補 活氣付いた地委選舉戦

あと学月に進つた無軽の地方委員 板の池島周嶽氏は各區に直つて澳家は今までの潜行観式探り合か れなく機を漕して散薬を集めるべきがな方法を以て猛運動に漕手した 太氏は過酸し、飲食店紙合長の加廉百 経路して 大氏は過酸の

目前に迫る

秋祭り近づく

2868 15774 8514 出張所 8935 可支店 4515 支店 9324 9601 若狭西部 528

炭坑祭

十七日煙臺で

人タクの

政府や政黨に満洲の事情疾に駆除 国状態祭は實に時機を得だもので ことであつた▲田崎信族代議士ので のであった▲田崎信族代議士ので や響角問題に付百の陳情千の諸題 よりは餘程効力あり且つ恒例に依

開兵座かに十四名の交融でに五時、 関丸は墨き日は暮れる所政 云ふ歌かね地観があるので出脚後 対は芸能に職職の他であるが興と

用をお覧めしたいのであり、べからざるものとして衝撃。

『龍一回以下指方』 △六七金▲七四歩△四八線▲九四歩△一六歩▲一四歩△二八玉▲六三領△三八金▲三一角△三七線引▲七三柱

五

皮膚薬多年の 一滴で殺菌と化粧の 二重に働らく特色 理想實現

東京日本福度瀬戸物町 い効果があります。 に用ぬて最も著し に用ぬて最も著し P事件は十四日證據不充分で無罪 長金守氏は文書信造私印弦用恐 日表のでは文書信造私印弦用恐 江雜爼

止めやうとして五十日餘の ルカートでは、 ルカーとは、 ルカーとは、 ルカーとは ルカー

郷の盤の七二日本者し要郷の種の本前 月長 挨拶

自らの無能に恥ぢて

慰問方法

储 木 元費發

堂生賽田山 京東 社會藥費本日 連大

韓局長の新任で

吉

齊副局長は辭仕



でである。

西電

以上ノ圏へ現型二分ノ 以上ノ圏へ現型二分ノ 二号天胎 十五銭

(操印)

M

ノ一回

なれ

玉

内地人数 一時に比べて七名の減少となった 原區別戸園男女計 が、内に比べて七名の減少となった 原面別戸園男女計 が、内に比べて七名の減少となった を記し、大月末の調べ 六六鋒、廿五錢 御常用トンラ定部アル (海印) 平安 五十錢

4

輸入商の損害は 增給案提出 十三日の市参事 九月二十九日長行の智であつた金 使物子耶霊警報告続と重複するを 度な一般に変して満日は丁 であった金

金福線列車また

三往復に變更す 豊作で出廻期により

お 人月二十日より正式に開校した音を 人月二十日より正式に開校した音 本 大学女の十八年度經常費は初め 本大学五年五千二百六十元と計 に就て是非支出の必要ありて財政 に就て是非支出の必要ありて財政 に就て是非支出の必要ありて財政 に就て是非支出の必要ありて財政 に対してという。 精大學校經費 吉林地方の

數百萬圓に上る

露支紛爭と經濟界

味の素の必要か

どうかは、

言は

すと歴然、

只使

く食ふには

祭を述大に挙行することに決定 ・順く成り来る二十九日之が報告 のなほ

(可認物便郵種三類)

生活難の巡査の

青年團の 大會

でお教へ致します 養生法を

一体薬の管 「はが能な感覚、内外網工編等の 関係者は一常は休業、持に内外網 大大田の幣日に取り 大大田の幣日に取り 大大田の幣日に取り

今日は仲秋節

るに如かず! て美味く食べ

宮內省御用達 味の素本舗 鈴木商 店

黒い大理石の陰度の上に、シーバ

お立ちになったからでする。金と

敷玉とをちりばめた降鹿木を後一たスカートの下から、二つの小さ

の女王の様な実しい若い女の方が無い大胆イター

てあらつしゃるのでする合嬢がお

版な魂を持つてゐるのだわ」との

がきになる度に、 世科で総収をしてあらっしゃるのです。 会議がお

聞かれました。そして

黄いろい光

館が鳴か止みましたの数台の屋が

らでも聞えるやうなその

郷の音はまだ止みませんの裏間か

人々はおのづとはい心の扉を開い

しみんと一種をたれるのです。

日

づしい女は、思はず立ち上って解

しいお前父さんが、にこ 何だかあの重い墓石の下からやさして背を思ひ出しました。すると からやって来るかの様な気がしま なな ちさわぎ観の頭き居る 公かなく島の形する ともなく島の形する

野の果てに日は落ちにけり

おつしやるとの際でした。 つてお供の者に明かなみ酸でから けになるやうなことは無く、かへ つても、そのきれいな脳をおそむ 「間しい者こそ本當に玉の様な立 そして皆の一番後にくついきなが の子も思はず萬蔵を口 な品を高くさし上げて、その一 しろの方に居た、あの小さな乞食 人々なが観喜の態をたてる度にう 自分の猫の來るのを今かり

定りました

暗い館を明るく照らしました。

が白い雪の上に流れ、路上に並ぶ

を興へられる幸職を思って、もうのあの美しい手から何か素的な物のあの美しい手から何か素的な物 粉盤はまだこやみなく降つてるま と待つてゐるのでした。 たった今剛整と書方の用品物を 「信いことをしましたね、彼は

小斑りに分類の前に進んで丁寧にいよく一後の番です。公食の子は で先づ取扱で係の先生の手許に製と如何にも残ってうに言ふっそこ けるんでしたがねえし あう一寸早く來で鳴くと見て除

らな美しのがありますよ

部中になって

あるのです。

八

を移すと、世田校長の電路に運はつて次々と運ばれて來る作品に限 なものばかり ずいづれる目の見めるやうな飲か に者も思はず観察の器を放つ、先「ほう、なるほど立派ですねえ」

かける。その中に係の先生方によ るやうな言葉を矢つぎ早に俗びせ

出したもので、一々彩でしばった 見ても五回六回と色を築め分けた ものでこれだけのものを作り だれば新士織、科二重、院父様な の部様様を見る。 のてたりしても、種多様の政治い境 の模様を築め 五年小林湖子さんの宿 のボイル女見 裁師の作品には四権田崎 ん、中村花子さんのベビ

ヘルプで武装せよ!

是五)上江安梁(

秋の月ならばる渡る

のんだら気が時れる

どの生地にいる。

何よりヘルプ

七 月 九 年 四 北風の送葬曲

話

てム下さいまし」会議はかつて監

な靴が聴きました。

「皆さん、つまらない物ばかしな

招待なすつた時と同じ口物でおつ 生日の御殿ひに十二人の紳士を御

しやるのです。

「何と云ふ丁寧な御言葉づかひだ 「何と云ふ丁寧な御言葉づかひだ

は沼にひろがる波紋のやうに、町の館が鳴つてゐました。その響き では白いあごひげの露店商人が、 の上を漂つてゆきました。 古めかしい教館の実際では鍋た銀一にして、眩しい花電燈の光に包ま くばんだ限を附ぢてしづかにおい つき道で落した一きれのパンを いけたランプのらすりのもと 然楽光の中のマリヤ線のやうに神

事實命職は残い乞食等を御覧になる機を女神の様に申しました。 名なさる低齢分譲でした。世間で、それは仁慈の御心がお厚いので有 べしく見えるのです。 短

と風船みたいに肥えた市最事官のの教師さんはから申します。する

つ明日私は早速議員を集めて、合

際は徐紀えて草のさゆらぐ とりぎりすしのびてゆけど起ちに たをり飛ぶを狙ひてゆきけり 熊露にしといに裾を薦らしつ」は 版の養行表彰の打るはせをするつしい人態は金融の此の丁寧なやさしい言葉にも、牧師さんや市参事れは丁度花から花へ飛幅る詩樂のおは丁度花から花へ飛幅る詩樂のおなだけでそれ以上の何物でもな

あた令嬢の面を、忽然一種の冷た 一種の心をできませる。

ました。一様は何を駆い事はしやし

へた限を見はつて驚へながら申し

ない。たい御歌みをお受けしよう

としたいけなのだよし

い機笑が悪の様にかすめました。

限を輝かしながらその据じみた動

機に健康でした。乞食の子はおびその犬は狼の機に怖しく、蟷螂の

お辞儀をし、解い腕手をさし伸べ

をあげました。

毛皮の手袋等を出して可愛さらな ら赤いジャケットや。エナメルをでもやがて今様はその大きな難か かつたからです。 よ」合類はから御言ひになると、 「お氣の毒だがもら有りません

背をおむけになり、履う

を乞ふ前に鏡を見ろっさし出す前 お前の手は百足虫の様だの御慈悲

大郷場の裏の山路の草むらに蛇い

合鏃のお手づからいただいた立派 そこで始めて皆は感謝の間びを撃 人々にお興へになり 合酸はあでやかにお笑ひにな 部に殿類高く映へはじめました。 ・ました。つました。ついとくし、

泣きながら粉製の中へ指えて行か

乞食の子

犬は肩をいからして呼びました。

にそのけがれた手を切りおとせし

年教育品展覽會 南滿教育會二十周 出品物のぞ記

べき実晴らしく立識など

ブル掛けを

澄田校長は記者に椅子をするめな 物を見やう。

では頭生高等女學校の展覧會出品

つてあるといふ裁縫手鑑品を見せ

大は頭生高等女學校の展覧會出品

つてあるといふ裁縫手鑑品を見せ カメラを携へて同校を訪ねると、 彌生高女の部

なものが出来て居まで、色合な てもはづかしくないやうな飲か 続り架めや自ら架め出した長被私も昨日やうやく見たのですが などは渡速町あたりの店に出し 質に立版なものがありますよ 三松志城美事子さんのケ ブタノ

來ない中から記者の好奇心をそよ と選田校長はまだ品物が運ばれて コブタ 小山內春江 コロゲテ チデ

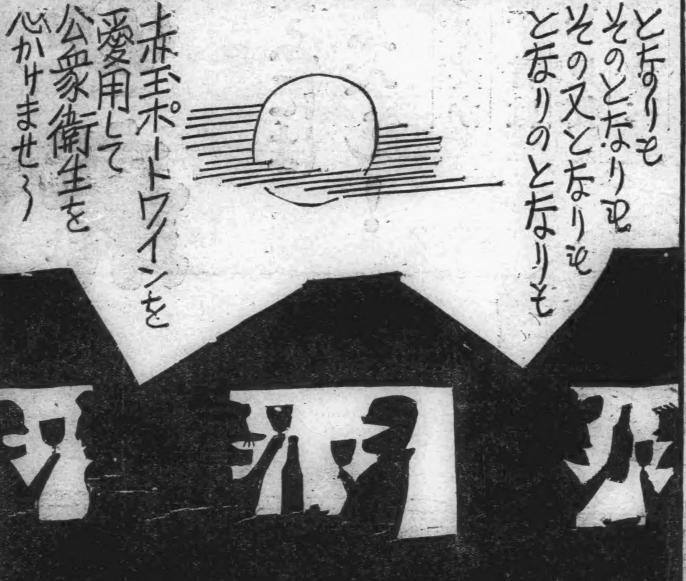
筆頭に 四級旅跡で

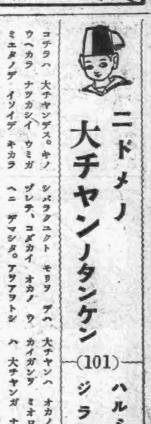
7

四松大曲テエ子さんのピ

も効なしいかたる遊場が、遊差食の美味も関いかたる遊場が、遊差食の美味も関いたく衰弱するのみ

慢性脳骨カタルとなり 因となり下科膜痛叶獨は木あたり食 世 そのとなり





=

チ

胃腸を强健に

ゥ

青春の元氣を養へ

オリマシタッソシテ モリノナ イソギマシタの カイガンヘト ヘニ デマシタ。アファフトジ オホキタ ヒロガラテ ミニマー大チャン タ ウミハ スグ メノシタニ ナッカシイ ハ 大チャンガ ナガレウ オモハズ カイガンデシ

大な作用を有し、たとへば胃癌のやうな病気は、その

松上之間安子さん、四松上 臭服店の店に飾つても決してはづ **離かな機様は窓田校長の話の通りいろ作られてゐるが色とりとしの** から同様の被染めで長橋が 長福祥は四松田中周子さん、三櫻のかしくないものである。これらの 立派な 出来である

して鍵上げた努力の総誌とも見るのである。その他手懸品としては づれも工夫を凝らして楽 森脇振野さん、四竹佐 ん、三松財産のサきんなどがい三種平山龍子さん、三格古田女さ 肺 县英樂惠門

軍手現金卸 山本洋行

し背浴重ねて來る胃腸患者よ、後に病苦を動ずる勿れ、名類タラコン意に任せて縁取され、榮養は日に加はり、體重は月に増し、元気機器 **便** 一 经增加 五十銭 一 四 三 四 经科各十二线 海外四十五线 编纂 散藥 的藥 各五十錢 一 四 世級 二 四五十錢 五 眼 十 十 東京小石川區下宮坂町二〇東京小石川區下宮坂町二〇 以能性は好占の目標 西中科 脚削

は全國の各種店にあり、一たび試みて其間債を知られよ。

鵬病を根抵から帰述するのである、見よ門腸は蚊に陸生し美味実食

日下齒科醫院

江戸前料理 御中食 11二時金五十段 がよるの 金五十段 が計算當 金五十段 の 金五十段 がよるの 金五十段 が計算當 金五十段 の 金五十段 の 金五十段

財子

● 大車賃 電話 整ひました 整ひました

砂湯所は熊岳城熊 温泉 話電

清化吸水を完全にし、体施せる飲食物や分が動を振動して骨軽内を満 胃腹薬タラコンは、被勢し、強烈し、整腸した胃臓の機能を復活して 既收し、習慣瘍は細胞を増殖して資病面を經濟し、胃糖服、胃下 東部にし、大小野島を敷へ、老駅物 を駆除して青春の活気を敷へ、老駅物 を駆除して青春の活気を敷へ更に その主成分は血管内に要取されて である。 細胞を健全なる細胞に改造する低 し獨特の便賢性能力を發揮して病 形 の和昭

数十五贯定



(六)

四平街敗退

滿倶頻りに投手を代へる

八人對二のスコア

は大鴻運動場準備グラウンドに城帝大勢中國係薬域球艦の隊球

京城帝大との蹴球戦

一二三四五六七八九十十二世計

走者無し

・軍敗る

「城大のキックオフ

半から大

题智四○梦、二等杉山、III 五十米第一回自由型 柳井二入秒入、二等小里 柳井二入秒入、二等小里 川三分二六秒、二等照原日米平泳

小里一分三三秒八、二等松

村上、撫服先攻試合經

五秒八 (滿州新

田一分十秒四、二等唐泽米自由型 越智、下村、吉井)二百米リレー

番笛 デション駆く 加 上戦十二回 全滿都市對抗野球大會

水泳記錄大會成焦

人のブ

神宮競技大會に出場する女子選手

の新記録を作る

(四平林 | 八四平林 | 八回平林 | 八回和 | 八回和

ながら球口のミートが足らず風 野が安打に出た時歌性がパント せずして打つて出た事もゲーム を受させた原因となった。本族 野が安打に出た時歌性がパント

見上山口

順軍勝つ

が光つて 胆見の快流

作決勝戦 で

五百米一 第近縣(濱०) 部決勝の部

ラグビー

スケヂュール決定す

二十世紀の 梨、岡

マスクメロ

八進河俱對全四平梅毗

本年度の役員も選任

▲同十三日 計算 時華天)育成對工專(午後三時工 時華天)育成對工專(午後三 專) 水蘭對大供《午後三時工 旅雕》大蘭對大供《午後三時工 · H 州內豫選育成對大商

ませばくろイ、本類なさ化學療用「五七 平澤本院 の原名を配し申込あれ県理官競共 の原名を配し申込あれ県理官競共 の原名を配し申込あれ県理官競共

. . .

ステラ

瓜 イチヂク イチヂク 尾 事報甲查審較比密林康 式 養鷄飼料粉機特 特約店 三省 電話南 云が ■話五○三番

全國中等校の 陸上競技會盛況 好晴に惠まれた二日目 て明日の決戦に備えた

農村、珍

金肥を半減し或は使はずに

埼玉師範終に優勝 △走市跳一等杉田(滑貝潟商業)六米七七

勝旗授與ならびに各種目傷勝校に 四十六點を得た衛玉師籤に難し優 最後に午後五時二十分より練得鑑

(総) 南郷判の下に結大先攻に開 四に波致一匹を先取せしも後線かず早大は四回に北致一匹を先取せしも後線かず早大は四回に七匹を得て結局七 中大・波政田村、港で、田坂 早大000万リー早大松木、多勝、 1000万分(田坂 1100万分(田坂 1100万)(田坂 1100万)(田成 1100万) (田成 1100万

第、弦に想法案で云ふ没家にさつ 農家の肥料問題に就て八巻敷い近 あらゆる農作物の増收が出來る が果げた者が全両的に活用ある。 が果けた者が全両的に活用も可収を基

取れなかつたがほより六石の大学収を撃げた者、実性で二石より かれなかつたがほより十俵と云ふ二倍 がれなかつたがはより大石の大学収 を されば今日かくる偉大の残害ある。 されば今日かくる偉大の様常の一大旗失なれば翻詳しくは残い者である東京小では表示の一大旗失なれ 説明書や常販成組書等の急考量観 の一大部でではあるまい を得らるゝ事は、管に監禁へ 不改の今日、企肥を節約した。

●イジ頭痛にノ 衛生工事の御用命は

東京野一色電氣研究所出身 東京野一色電氣研究所出身

らしい福音 はまして大瀬における 最初の しまして大瀬における 最初の と野介と目前女 ととし **敷鳥町青年會館** で低廉であります。 伊太利藝術品展覽會 0

界各國酒類 食 料 000

宅 東獨 もなか 東京風菓子謹製 お 茶んのざ 9 B Ò

難く四平海

授興され午後五時三十分

に打つた打者には本 る事が無かったならばもつと追っ で二臓をオーパーランピて刺ぎれの紫癜と五回鰓前屋が秋音の安打の紫癜と五回鰓前屋が秋音の安打でのこの黒黒 打者は不幸だったが右翼 の風は可なりに強く左 辛ひをしたから

野投にもよるが四平街は秋吉へ安で後を評するは敷だ▲満県投手ので後を評するは敷だ▲満県投手の 體に接くかつ右翼笛りに守った事 は非常に良かつた▲滅俱の久心振 平街が短く打つで軽く當でやうと開電共にこれは帳消▲此の風と四 て得意のカー に立つた小松は今日の風を利 ープも用ゐる時なく早っ

ウオターマン萬年筆 アメリカントランプ

Waterman's fountain Pen

を光東にて関戦し帝大一国に二版を光東にて関戦し帝大一国に二版を光東にて関戦し帝大一国に二版を光東にて関戦し帝大一国に二版を光東し四国一監測へ計三版に新たば六国に二版をカードし八国に二版を加っました。

對帝大二囘戰

曹 8 五品電

8 本 2

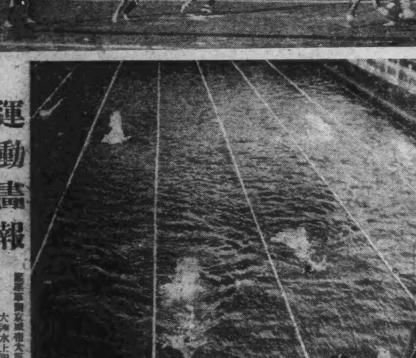
履物三雨金は 浪速町大連商品 山 右入口)

0

物店へ 茄六三 一八番

込む事、二十一日午後七時華天支 の場選手の氏名を配し申込金五

雄也一、



出場希望者は至急御申出て下さい 來る九月二十二日を期し左記に依り

九月二十二日午前八時開始

率天益濟寮コー

谷地方を代表する正選手三組補缺一組

全滿軟式庭球大會

全滿庭球大會を舉行

生漢陽野三爾▲旅順三者 無順一死後今里兄左翼

同二時四十五分、衆郷香川、屋海県球場で開始されたが、入人連海県球場で開始されたが、入人は十六日午後零時四十五分より大は十六日午後零時四十五分より大

四百米一篇村上(青森商業)五十四百米一篇村上(青森商業)五十二秒(大會新記錄)

三参(大會等計算)

□ 本の五
一本の五
一本の五十米一着関本(積松節範)十七
一本の四
一本の四
一本の四
一本の四
一本の四
一本の四
一本の一方で、「自有
一本の一方で、「自長節範)十七
一本の一方で、「自己の人を手をした」(但し州外のみ
は未定)
一本の四を記す。(島根節範)十二
一本の一方で、「自己の人を一方で、自己の人を一方で、「自己の人を一方で、「自己の人を一方で、「自己の人を一方で、「自己の人を一方で、「自己の人を一方で、「自己の人を一方で、「自己の人を一方で、自己の人で、自己の人で、「自己の人で、自己の人で、「自己の人で、自己のも、自己の人で、自己の人で、自己の人で、自己の人で、自己の人で、自己の人では、自己の人で、自己の人では、自己の人で、自己の人で、自己の人で、自己の人で、自己の人で、自己の人で、自己の人で、自己の人で、自己の人で、自己の人で、自己の人で、自己の人で、

專(午前十一時半)快勝(三時半)同二十七日 同決総職二十日の

山梨前

朝鮮總督

事局の召喚を見ん

一月三日 選手欄大會二部決勝(午後一月三日 選手欄大會二部決上大連運動場

| 「原東京十六日設電」 過数明能に対する | 東京十六日設電」 過数明能に対する | 東京地 | 東京

総督の召喚も見るであらうと 総督の召喚も見るであらうと

多少に不拘御用命願升 西廣場出口

高高 石

所得所軍戶留事來車與世軍官見亦 大連市加及川町卅五 大連市加及川町卅五

伊太利大風石彫刻を伊太利プロレンスより順高

大幅は飲みさしの影響性をぐい と見すと、ソファからかもとつて と見すと、ソファからかもとつて に行んだが

からねっ 誰が、草野君なんかと交からねっ 誰が、草野君なんがやあないんだって女と総能するんぢやあないんだ

……そんな無理を云つて、僕を

薬師をせるいだ。

はんの形式だけの、客ばかりのはかつてるでくれるだらうと思ふっ

語のやうに盛いた

三四人婦人の友社 東京市福司

り能で云つ

柳鄉總養府 (定

あなたは武長の御命

町なんだよ!僕は永久に君を蒙しはんの形式だけの、名ばかりの説 て、わたしは身分の低い女事務員

後女の頭に抱いて、有無を云はせた。 さん!そんなに僕を想つてゐるの 御総覧が滅来々人になると傾有る してくれると 題が着もなく登開けられて、とはメントと、はクはエストと、はクはエストと、 、つかくと部屋のなかへはいと、彼は部へしげに呼びかける るべからず 眼を覆ふて物は見 ルの味こそは 獨逸

うまい銘酒 あれはこと 月も名月 類やめなら

何でも御利用下さい で勢可能納所角架立五五四 一乗転間選 二一五四四 御旅行の事は あがれ

0 む かる 早い かっ す くなほる

食傷による下痢と腹痛に

所謂お腹の掃除に

番角 根 本師吉田久四郎商店 科 H 完

完醫男岩室案診科保

大連市三河町十八

B3(

生殖器障碍 满 性病粉情以

商帧器療醫 订資合

の原因を

理り配列

受起五二六04

上疆

天津行河河北のあらすか丸の · 横贯 直 行 河南丸